



表示画面定義機能 II (VSE)

SH88-6121-00
(英文原典 : SH12-6313-00)

SDF II 入門 (CICS/BMS)

リリース 6



表示画面定義機能 II (VSE)

SH88-6121-00
(英文原典 : SH12-6313-00)

SDF II 入門 (CICS/BMS)

リリース 6

――お願い――

本書、および本書で説明する製品をご使用になる前に、必ずvページの『特記事項』をお読みください。

本書は、表示画面定義機能 II VSE (プログラム番号 5746-XXT) のリリース 6 修正レベル 0 に適用されます。また、改訂版で特に断りのない限り、それ以降のリリースおよび修正レベルにも適用されます。製品のレベルに合った版をご使用ください。

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原典： SH12-6313-00
Screen Definition Facility II for VSE
Primer for CICS/BMS Programs
Release 6

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

目次

特記事項	v
商標とサービス・マーク	v
本書について	vii
本書の内容	vii
本書における指示	viii
パネル表示	viii
CSP/AD および VisualGen の参照	viii
第1章 CICS/BMS 用のパネルの定義	1
単純なパネルによる開始	2
パネルを定義するステップの復習	2
第2章 アプリケーションの例	3
ターゲット・システムの CICS/BMS としての定義	4
SDF II に対するパネルの識別	4
パネル特性の定義	5
ENI パネルの形式の定義	7
第3章 データ構造の詳細な定義	9
構造の定義ダイアログの選択	9
ENI パネルのサブフィールドの定義	10
小構造の定義	10
パネルのテスト	11
第4章 ENI パネルの生成	13
CICS/BMS 制御ブロックの作成	13
生成の出力	13
オブジェクトの識別	13
ENI パネルの生成	14
生成メッセージの処理	16
メッセージの印刷	16
SDF II 生成の結果	17
第5章 SDF II による CICS/BMS マクロの定義方法	19
SDF II 用語と CICS/BMS における同義語	19
SDF II 編集プログラム	19
DFHMDF マクロの作成	20
DFHMDI マクロの作成	20
DFHMSD マクロの作成	21
DFHPDI マクロの作成	22
DFHPSD マクロの作成	22
第6章 在庫管理アプリケーションの例	23
SIH アプリケーション	24

SIH 出力ページ	25
パネルの定義	26
SIHHEAD パネルの定義	26
SIHBODY パネルの定義	27
SIHFOOT パネルの定義	28
第7章 BMS 特性の定義	31
SIHHEAD の位置の定義	31
SIHBODY の位置の定義	33
SIHFOOT の位置の定義	33
第8章 パネル・グループの定義	35
パネル・グループの識別	35
パネル・グループ特性の定義	36
パネル・グループのパネル・リストの定義	36
テスト・レイアウトの定義	37
パネル・グループのテスト	39
パネル・グループの生成	39
第9章 パネルへの装置および形式の追加	41
パネルの識別	41
他の装置の定義	42
3278-4 装置用の形式の変更	42
第10章 区分セットの定義	45
区分セットによる ENI アプリケーションの使用	45
区分セットの識別	46
区分セットの特性の定義	47
区分セットのテスト	48
区分セットに対する ENI パネルの定義	48
区分セットの生成	49
第11章 他のターゲット・システムへのパネルの変換	51
ENI パネルの変換	51
変換された ENI パネルの保管	52
付録。 DBCS ユーザー対象の注意事項	53
記述フィールドへの DBCS テキストの入力	53
DBCS オブジェクトの生成	53
用語および略語の用語集	55
SDF II の資料	63
索引	65

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および(ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Deutschland
Informationssysteme GmbH,
Department 3982,
Pascalstrasse 100,
70569 Stuttgart,
Germany

本プログラムに関する上記の情報は、適切な条件の下で、使用することができますが、有償の場合もあります。

商標とサービス・マーク

本書で使用する以下の用語は、米国 IBM 社の商標です。

BookManager	CICS	CICS/ESA
Common User Access	CUA	GDDM
IBM	IMS	MVS/ESA
MVS/XA	VisualGen	VM/ESA
VM/XA		

本書について

本書を読むのに先立って、*SDF II R6 概要説明* を読み終わっていなければなりません。本書全体を通して、その資料で説明されたタスクの知識や経験があることを想定しています。

SDF II R6 概要説明 を通読する際に、いくつかの簡単なパネルを定義したはずです。SDF II の省略時値を使用して、ターゲット・システム用のパネルを定義しました。本書では、特に CICS/BMS 用のパネルと他のオブジェクトの定義方法について説明します。すべての SDF II パネルで使用可能なフィールドをすべて使用し、説明しているわけではありません。オンライン解説で、すべてのフィールドおよびパネルに関するヘルプ情報を見ることができます。

本書を読み進む過程で、*SDF II R6 概要説明* で使用したほとんどの対話機能を使用することになります。最初のいくつかの章で、いくつかの新しい対話機能を使用してパネルの詳細化を行います。パネルが作動可能になると、SDF II を使用して、そのパネルから、CICS/BMS 用のアプリケーション設計による使用に適した CICS/BMS マクロおよびデータ構造を生成します。

残りの章では、より複雑で共通ではないタスク用の SDF II を使用します。これらのタスクには以下が含まれます。

- パネル・グループおよび区分セットの定義と生成
- パネル、パネル・グループ、および区分セット用の複数のタイプの装置の定義
- パネルに対する複数の形式の定義
- 他のターゲット・システムで使用するための CICS/BMS パネルの変換

本書の内容

本書の内容は、次のとおりです。

第1章	VSE ユーザー前提条件を定義し、CICS/BMS プログラマーの観点からパネル定義を説明します。
第2章	アプリケーションの例を紹介し、パネルの作成方法を説明します。
第3章	パネルの例のデータ構造の詳細な定義の方法を説明します。
第4章	パネルの生成方法を説明します。
第5章	CICS/BMS に関する SDF II の特殊な用語を定義し、同等の BMS の用語に関連付けます。CICS/BMS の各マクロのオペランドが SDF II で指定される場所も示します。
第6章	分離された見出し、本体、およびフッター・パネルを持つより複雑なアプリケーションを説明します。
第7章	パネルの BMS 特性の定義方法を説明します。
第8章	パネル・グループの定義と生成方法を説明します。
第9章	パネルへの追加装置タイプの新しい形式の追加方法を説明します。
第10章	区分セットの定義と生成の方法を説明します。

CSP/AD および VisualGen の参照

第11章 他のターゲット・システムで使用するために、CICS/BMS 用に定義されたパネルの変換方法を説明します。

付録、DBCS ユーザー対象の注意事項

2 バイト文字セット (DBCS) のユーザーを対象とする注意事項が含まれています。

用語および略語の用語集

SDF II で使用される用語とその定義のリストが含まれています。

SDF II の資料

関連資料のリストが含まれています。

本書の最後に索引があります。

本書における指示

本書におけるプロシージャで要求される SDF II とやりとりする方法は、以下の 2 つの方法があります。

入力
タイプ

データを 入力する ように要求されている場合には、強調表示された文字をタイプして、**Enter** キーを押します。(一般的に、“強調表示されたデータを入力する”という表現を使用しています。)

データを タイプする ように要求されている場合には、単に強調表示された文字をタイプします。その後に続く指示は、次に何を行うかを説明しています。

パネル表示

本書で新しいパネルを初めて参照する場合には、そのパネル全体を示しています。重要な変更が行われているか、または示されているページが少ないパネルは、その全体を再度示しています。

ほとんどの場合、更新されているパネルのフィールドの数が少ない場合には、そのパネルの一部のみを示しています。

CSP/AD および VisualGen の参照

本書において、CSP (または CSP/AD) を参照するオンライン・ヘルプ、およびオンライン解説は、VisualGen にも適用されます。

第1章 CICS/BMS 用のパネルの定義

前提条件

SDF II では、生成された出力を入る VSE サプライブラリーを指定する必要があります。これらのサプライブラリーは、VSE/ライブラリ機能を使用して作成されなければなりません。ライブラリーの定義方法については、*VSE/ESA システム制御ステートメント (SC88-6392)* を参照してください。標準ラベルでは利用不能な DLBL または EXTENT JCL ステートメントを、SDF II 始動プロシージャー DGIPROC.PROC に追加する必要があります (*SDF II R6 管理者の手引き* を参照してください)。

本書において VSE サプライブラリーとして使用する名前は以下のとおりです。

OB.CTL 生成された CICS/VSE オブジェクト用

OB.DCT 生成されたデータ構造用

SDF II 管理者により設定された名前を使用してください。

SDF II R6 概要説明 によって、SDF II を使用して一般的な方法でパネルを定義する方法を習得しました。その際に定義したパネルでは、SDF II が提供する多くの省略時値を使用しました。実際に、SDF II のターゲット・システム用のパネルを定義する方法を習得しました。本書では、SDF II を使用して CICS/BMS 用のパネルおよびその他のオブジェクトの定義と生成の方法を説明します。

CICS/BMS では、CICS/BMS マップ・セットをコーディングすることによってパネルを定義しますが、このマップ・セットは一連の BMS マクロ・ステートメントから構成されています。SDF II では、ユーザーが対話式に定義するパネルに含まれる情報は、CICS/BMS マップ・セットのコード化された情報と同等です。パネルを生成すると、同等の CICS/BMS マップ・セットを入手します。

SDF II を使用して作成された パネルは、1 つまたは複数の形式と 1 つのデータ構造から構成されます。形式は、画面上のデータの外見を定義します。形式は、異なる装置タイプごとに異なる定義で構成される場合があります。1 つの特定の装置タイプに対して定義される形式を、形式インスタンスと呼びます。CICS/BMS の場合、各形式インスタンスは、そのパネルの他の形式インスタンスと同じ数の変数フィールドを含みますが、フィールドの配置や属性は装置タイプの制約に合わせて異なっていてもかまいません。データ構造は、特定の形式を使用して表示されるデータがアプリケーション・プログラムによる使用に対して構造化される方法を定義します。

あいまいさがない場合、本書では、形式と 形式インスタンス の用語を同じ意味で使用しています。

SDF II には多くの省略時値が用意されており、最初の 4 つの章の単純なケースでは、それで十分であることが分かるはずです。残りの章では、このような省略時値を変更する方法を説明しています。

単純なパネルによる開始

単純なパネルを定義したいと想定します。パネル編集機能に入る時点で、「パネルの識別」パネルに、そのパネルの名前、そのライブラリー、およびその装置タイプを指定します。

装置タイプは、アプリケーションによってそのパネルが表示される装置の名前です。SDF II は、その装置タイプに合わせて形式のサイズを自動的に定義します。

Enter キーを押すと、SDF II は、省略時値によって 1 つの形式とデータ構造を提供します。データ構造の名前は、該当のパネルの名前と同じです。省略時の形式と省略時のデータ構造は両方ともブランクであり、フィールドもテキストも含まれていません。

パネルを定義するステップの復習

SDF II R6 概要説明 を学習する際に、以下のステップを使用してパネルを定義しました。本書では、これらのステップを再び使用します。

1. パネルの識別
2. パネル特性の定義
3. マークの定義
4. 形式の定義
5. フィールドの定義
6. 属性の定義
7. パネルのテスト

必要に応じて、オンライン・ヘルプ情報またはオンライン解説情報を参照してください。

第2章 アプリケーションの例

この章では、*SDF II R6 概要説明*においてパネルを定義した際に使用したのと同じステップで作業を進めます。

以下の例は、単純な CICS/BMS アプリケーションで使用されるパネルを示しています。

```
*****  
** U N I V E R S A L   M A I L   O R D E R   H O U S E **  
*****  
  
This program is designed for entering new  
items into the database.  
Complete each field and then press Enter.  
  
Category: _____ Price _____  
Item number: _____ US.$: _____  
Price valid until: _____
```

このアプリケーションは以下のように機能します。

通信販売会社には数多くの品目の在庫があります。各品目のレコードはデータベースに保持されています。各品目のレコード構造は同じです。

データベースに新規の品目を入力するには、ユーザーは以下を行います。

1. 不定様式の画面にその品目の名前を入力して、プログラムを呼び出す。
2. 書き込むフィールドが含まれているパネルが表示される。
3. パネルのフィールドに書き込む。
4. 最後に、Enter キーを押す。

フィールドの情報は、BMS によってプログラムに伝送され、プログラムによってデータベースに書き込まれます。これで、新規項目を入力するアプリケーションは終了します。次ページ以降では、このパネルを ENI パネルと呼びます。

ユーザーがアプリケーションと対話するパネルを定義するには、以下を行います。

- ターゲット・システムを CICS/BMS として定義する。
- SDF II に対してパネルを識別する。
- パネル特性を定義する。
- パネルの形式を定義する。

ターゲット・システムの CICS/BMS としての定義

CICS/BMS 用のプロファイルを設定する際に、このターゲット・システムに対する適切な省略時値を入手します。CICS/BMS に対して、SDF II プロファイルがすでに設定されている場合があります。このプロシージャーは、必要に応じてプロファイルを変更する方法が分かるように記述されています。

以下の「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

出口 表示 オプション ヘルプ	
SDF II機能の選択	
Option ==> _____	
1 パネル編集機能	パネルの作成または編集
2 パネル・グループ機能	パネル・グループの作成または編集
3 区分セット編集機能	区分セットの作成または編集
4 AIDテーブル編集機能	AIDテーブルの作成または編集
5 制御テーブル編集機能	制御テーブルの作成または編集
6 生成	制御ブロック・ソースおよびデータ構造の生成
7 対象リスト	ライブラリーの対象リスト
8 ライブラリーの指定	アクセス・ライブラリー
9 ユーティリティー	印刷、インポート、変換、作成 抽出、および対象の修正
10 プロファイル	編集省略時値の修正
11 プロトタイプ	プロトタイプの作成、編集、テスト
13 参照の印刷	オンライン解説の印刷

1. コマンド行に **10.1** を入力して、「システム環境の指定」パネルを表示します。

ファイル 表示 オプション ヘルプ	
システム環境の指定	
Command ==> _____	
目標システム	
- 0. ALL	
- 1. CICS/BMS	
- 2. MFS	
- 3. ISPF	
- 4. GDDM	
- 5. CSP または VISUALGEN	

2. 目標システム・フィールドに **1** をタイプして、SDF II に、オブジェクトの定義が CICS/BMS 用であることを示します。
3. **End** キー (PF3) を 2 回押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

SDF II に対するパネルの識別

このプロシージャーは、「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. コマンド行に **1** を入力して、「パネルの識別」パネルを表示します。このパネルには、最後にこのパネルを使用した時点で入力した情報が表示されます。

2. 強調表示されたテキストを入力します。

出口 表示 オプション ヘルプ	
パネルの識別	
Option ==>	<u>2</u>
BLANK 既存パネルの編集	
1 骨組みパネルからの新規パネルの作成	
2 CICS/BMS のスクラッチからの新規パネルの作成	
パネルの識別	
名前 <u>eni</u>	
ライブラリー <u>1</u>	
骨組みから新規パネルを作成する時、骨組みを識別	
名前	
ライブラリー	
スクラッチから新規パネルを作成する時、装置タイプを識別	
装置タイプ <u>3279-3b</u>	

「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。

ファイル 表示 オプション ヘルプ	
パネル編集機能ダイアログの選択	
Option ==>	
1 特性	パネル特性の定義
2 形式	パネル形式の定義
3 フィールド	形式のフィールドの定義
4 属性	形式の属性の定義
5 構造	パネルのデータ構造の定義
6 システム	目標システム依存情報の定義
7 テスト	実行時形式でパネルを表示
8 インスタンス	パネル・インスタンスの定義
* フィールド編集	フィールド編集および検査法則の定義

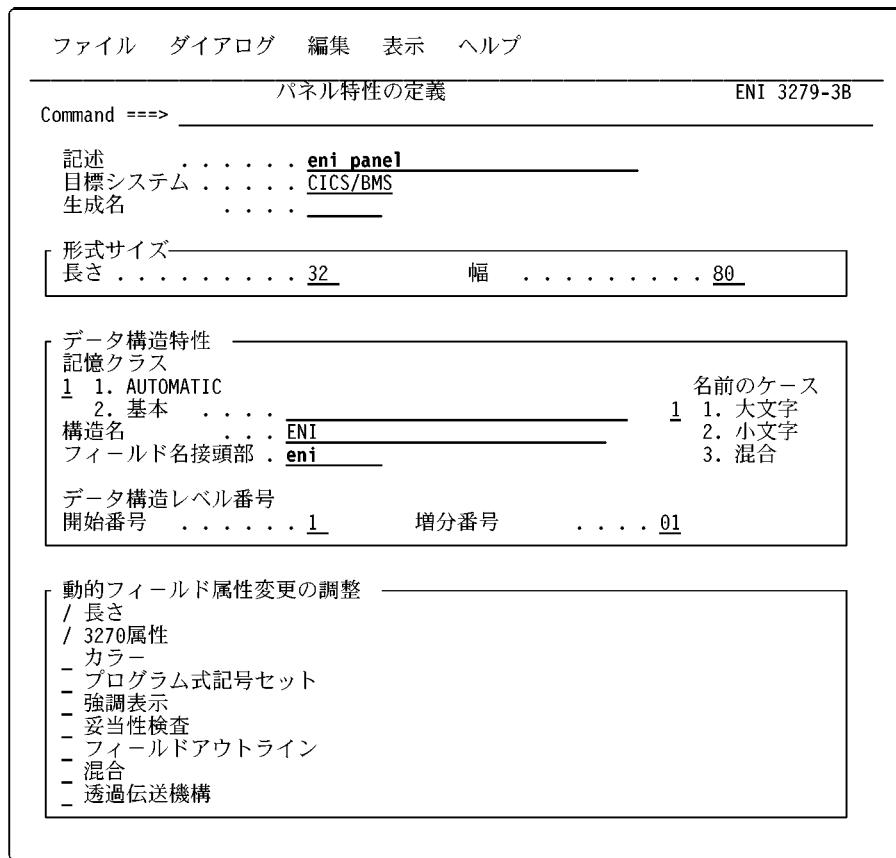
フィールド編集は、この選択が CICS/BMS の場合には利用不能なので、アスタリスク (*) でマークされています。

ENI オブジェクトが「パネルの識別」パネルで初めて定義されると、New object created (新規オブジェクトが作成された) というメッセージが、「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルの最上行に表示されます。

パネル特性の定義

- 1 を入力して、「パネル特性の定義」パネルを表示します。
- 記述フィールドに **eni panel** をタイプします。この情報は、SDF II によってそのオブジェクトに保管され、大きな SDF II オブジェクト・リストでオブジェクトを識別するのに役立ちます。

パネル特性の定義



必要な場合には、Scroll down キー (PF8) を押して、パネルの残りの部分を表示します。

3. フィールド名接頭部フィールドに eni をタイプします。この名前の接頭部は、生成されるデータ構造のすべてのフィールド名の最初の部分として使用されます。
4. カラーおよび強調表示に対して / をタイプして、それらのオプションを選択します。

動的フィールド属性変更の調整
/ 長さ
/ 3270 属性
└ カラー
 プログラム式記号セット
└ 強調表示
 妥当性検査
 フィールド アウトライン
 混合
 透過伝送機構

ここで、アプリケーション・プログラムによって動的に変更できる属性を定義します。たとえば、カラーを選択したので、アプリケーション・プログラマーは、ユーザーが正しくないデータを入力したフィールドのカラーを変更する ENI プログラムを設計することができます。この選択は、データ構造中のすべてのフィールドに適用されます。

5. End キー (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。

ENI パネルの形式の定義

このタスクを完了するのにヘルプが必要な場合は、*SDF II R6 概要説明*、またはオンライン解説を参照してください。

1. コマンド行に **2** を入力して、「形式の定義」パネルを表示します。
2. コマンド行に **marks** を入力して、「マークの定義」パネルを表示します。

ファイル ダイアログ 編集 表示 オプション ヘルプ

マークの定義	ENI 3279-3B
Command ==> _____	Scroll ==> <u>PAGE</u>
Marks COLUMNS 1-6 OF 6, ROW 1 TO 5	
Mar Type --- CUA Attributes ----- Resulting attributes Comment ----	
... BACKGRND PR NOR	PR NOR
... VARIABLE UNP NOR	UNP NOR
... - CONSTANT PR BR	PR BR
... / SPACER	
... , SEPARATR	
*** END OF DATA *****	

3. 以下のように、プラスの文字 (+) を入力します。

```
!!!      VARIABLE
!!! +      CONSTANT
!!! /      SPACER
```

これにより、ピリオドの文字 (.) がプラスの文字 (+) に変更されます。これで、ENI パネルを定義する際に、ピリオドの文字 (.) を使用することができます。

4. **End** キー (PF3) を押して、「形式の定義」パネルに戻ります。
5. 001 と 017 の行番号の上に、行コマンド **col** をタイプして、**Enter** キーを押して、けい線(目盛り)を入れます。
6. 強調表示されたテキストをタイプして、ENI パネルの形式およびフィールドを定義します。

ENI パネルの形式の定義

7. **Enter** キーを押します。斜線の文字 (/) の間のテキストは中央そろえされ、変数フィールドは下線で示されます。
 8. テキストとフィールドに対して必要な調整があれば、その調整を行います。
 9. **End** キーの選択 (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。

これで、ENI パネルの形式の定義は完了しました。

ここで停止したい場合は、以下を行います。

1. **End** キーの選択 (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。
 2. **End** キー (PF3) を押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
 3. 「エディターの終了」ウィンドウで、**保管**を選択します。「パネルの識別」パネルが表示されます。
 4. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。
 5. SDF II を停止した場合は、その「SDF II 機能の選択」パネルで **End** キー (PF3) を押します。

第3章 データ構造の詳細な定義

この章では、ENI パネルのデータ構造の変更方法を説明します。データ構造の変更は、「構造の定義」ダイアログで行います。

データ構造を変更するには、以下を定義します。

- ・ サブフィールド
 - ・ 小構造

サブフィールドは、事前に定義されたフィールドの一部です。たとえば、新規項目の入力(ENI) アプリケーション・プログラムには、ユーザーが日付を入力する 8 文字のフィールドがあります。ユーザーは、アプリケーション・プログラムが小さいフィールドに分けて日付を受け入れるようにこのフィールドを再定義することができます。つまり、日として 2 文字のフィールド、月として 2 文字のフィールド、および年として 4 文字のフィールドです。当初の 8 文字のフィールドは、グループです。新しいフィールドは、そのグループのサブフィールドです。グループ全体、または個々のサブフィールドのいずれでもアドレス指定することができます。グループとサブフィールドにより、パネルとアプリケーション・プログラム間で選択されたデータを容易に移動することができます。

小構造は、1つのエンティティーにまとめられるフィールドの集合です。たとえば、ENIアプリケーション・プログラムには、ユーザーが金額を異なる通貨で入力する2つのフィールドがあります。このアプリケーション・プログラムは、現在これらのフィールドからのデータを別個の操作で一度に1つのデータを移動します。これらのフィールドを小構造として再定義すると、アプリケーションは1度の操作で両方のフィールドからのデータにアクセスします。小構造により、1つの操作で別個のデータを1つの単位として容易に移動することができます。

構造の定義ダイアログの選択

このステップは、「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルから開始します。

コマンド行に **5** を入力して、「構造の定義」パネルを表示します。

SDF II は、このダイアログに属する列を同時にすべて表示するわけではありません。省略時
値では、画面に示される列のみが表示されます。他の列を見たい場合には、[表示パネル](#)・コ
マンドを使用します。

ENI パネルのサブフィールドの定義

このプロシージャーでは、**Date** (日付) フィールドを構成する日、月、および年のサブフィールドを定義します。

1. **i3** 行コマンドを入力して 3 行のブランク行を挿入して、日、月、および年のサブフィールドを定義します。

```
''' 02 FFR      8  
13 02 DATE    8  
''' 02          8
```

2. 強調表示されたテキストを入力して、**Date** フィールドをグループ・フィールドにして、**Date** フィールドのサブフィールドを作成します。

```
''' 02 FFR      8 — FIELD  
''' 02 DATE    8 — group  
''' 05 dd       2 —  
''' 05 mm       2 —  
''' 05 yyyy     4 —
```

各サブフィールドごとに、SDF II は、レベル番号 (**Lev**)、名前 (**Name**)、およびフィールドの長さ (**Leng**) の入力を必要とします。

3. **Enter** キーを押します。SDF II は、レベル 05 のフィールド・タイプを **Type** フィールドに SUBFIELD として表示します。これは、それらのフィールドが、**Date** フィールドのレベル 02 よりも下位のレベルとして認識されるからです。

```
''' 02 FFR      8 — FIELD  
''' 02 DATE    8 — GROUP  
''' 05 DD       2 — SUBFIELD  
''' 05 MM       2 — SUBFIELD  
''' 05 YYYY     4 — SUBFIELD
```

これにより、ENI アプリケーション・プログラムは、各サブフィールドとの間で別個にデータを送受することができます。

小構造の定義

このプロシージャーでは、**US** と **FFR** のフィールドを結合して、小構造にします。

1. 小構造を定義したい個所に行コマンド **i** を入力して 1 つの行を挿入します。

```
''' 02 CATEG   20  
1  02 ITEM    8  
''' 02 US      8  
''' 02 FFR    8
```

2. 強調表示されたテキストを入力して、小構造 **Price** を定義します。

```
''' 02 CATEG   20  
''' 02 ITEM    8  
''' 02 price   8  
''' 05 US      8  
''' 05 FFR    8
```

小構造は、他のフィールドと同じレベル番号（**Lev**）と、名前として **Price** を持ちます。
US と **FFr** フィールドは、小構造 **Price** よりも下位のレベルで再定義されます。

Enter キーを押すと、SDF II は、**Price** フィールドのフィールド・タイプ (Type) を小構造 (MINOR) として表示します。

「構造の定義」 ダイアログ・パネルは、以下のようになります。

この小構造は、新しい **Price** フィールドと、**US** および **FFr** の 2 つの下位レベルのフィールドの両方で構成されます。ENI アプリケーション・プログラムは、**Price** を 1 つのフィールドとして使用して、1 つの操作で **US** と **FFr** のフィールドとの間でデータを送受します。

これで、データ構造の変更が完了しました。

パネルのテスト

1. コマンド行に **test** を入力する。SDF II は、ENI パネルをユーザーに対して表示するのと同じように表示します。
 2. **End** キー (PF3) を 3 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示する。
 3. パネルを保管する。
 4. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻る。

パネルのテスト

第4章 ENI パネルの生成

Enter a New Item (新規項目の入力) アプリケーション・プログラムで ENI パネルを使用する前に、SDF II を使用してそのパネルを生成する必要があります。

パネルの生成の結果は、ユーザーの選択によって、一連の BMS マクロ、またはデータ構造、あるいはその両方になります。データ構造は、選択されたプログラム言語でコード化されます。

SDF II は、パネルが 1 つのみのパネル・グループ (BMS マップ・セット) として、パネルを生成します。データ構造を生成する過程で、SDF II は、選択されたプログラム言語に基づいてオブジェクトに含まれる情報を検査します。

CICS/BMS 制御ブロックの作成

SDF II が BMS マクロを生成した後で、それらのマクロはアセンブラーによって処理して CICS/BMS 制御ブロックを生成する必要があります。生成後ただちに CICS/BMS 制御ブロックを生成したい場合には、「生成パラメーターの指定」パネルのユーザー出口フィールドに、BMS マクロから CICS/BMS 制御ブロックをアセンブルするのに使用する REXX EXEC の名前を入力します。

その代わりとして、SDF II を終了した後で、その BMS に対して適切な REXX EXEC を実行することができます。

生成の出力

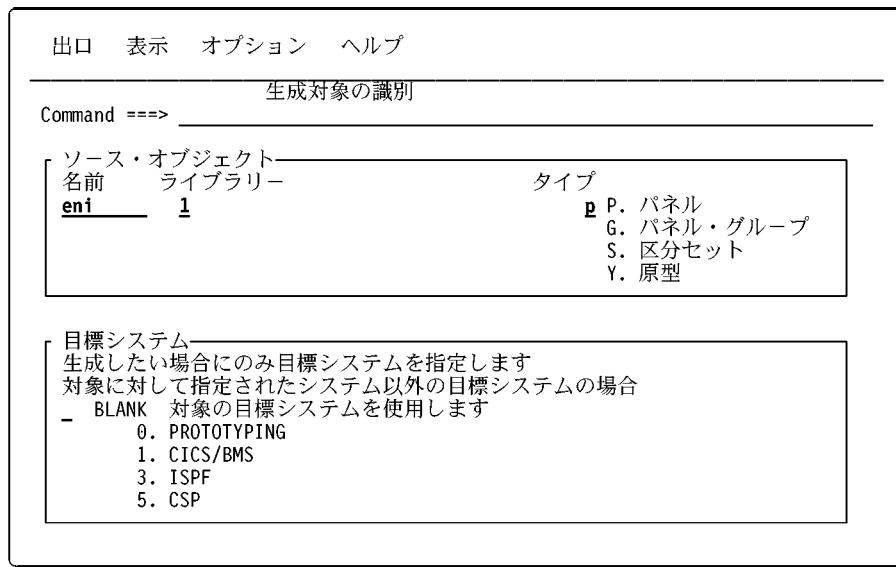
生成された出力は、VSE ライブラリーに 2 つのメンバーとして保管されます。1 つは BMS マクロ用、1 つはデータ構造用です。これらのファイルの名前 (生成名) の長さは、7 文字までです。「パネル特性の定義」パネルでこの生成名を入力します。生成名を入力しない場合には、SDF II は省略時の生成名としてパネル名を使用します。SDF II は、必要に応じて省略時の生成名を切り捨てます。

オブジェクトの識別

このプロシージャーは、「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. コマンド行に **6** を入力して、「生成対象の識別」パネルを表示します。
2. 強調表示されたテキストを入力して、生成するオブジェクトの名前とタイプを SDF II に対して識別します。

ENI パネルの生成



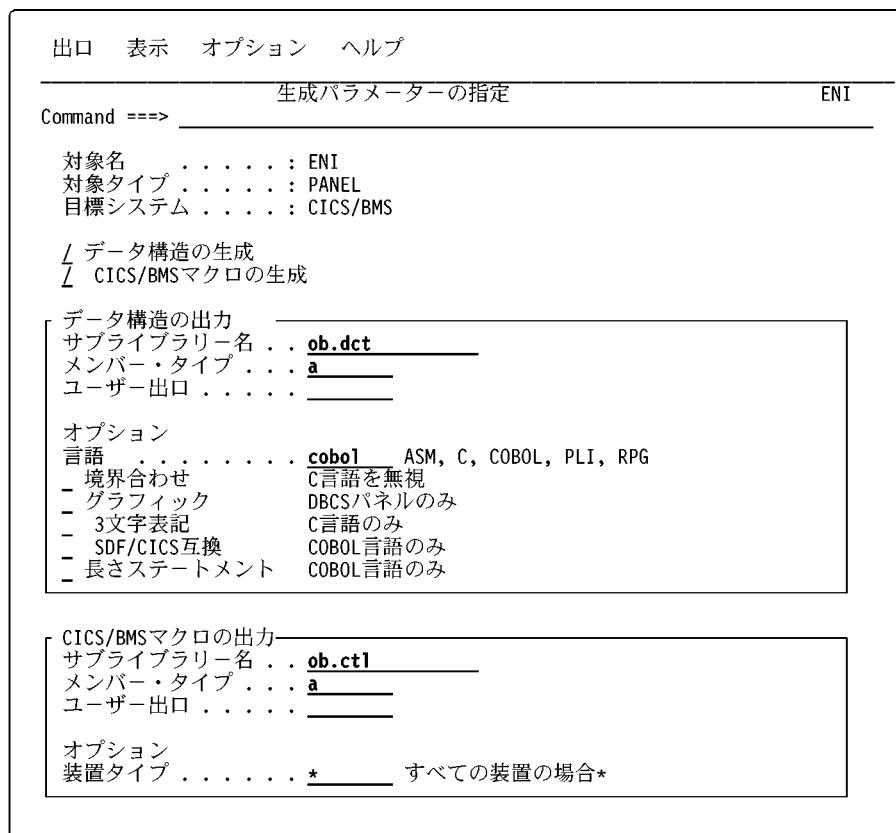
SDF II は、省略時値により、オブジェクトの定義元であるターゲット・システムのオブジェクトを生成します。したがって、異なるターゲット・システムに対するオブジェクトを生成したい場合にのみ、**目標システム**・フィールドに値を入力する必要があります。

Enter キーを押すと、SDF II は「生成パラメーターの指定」パネルを表示します。

ENI パネルの生成

このプロセッサーは、「生成パラメーターの指定」パネルから開始します。

1. 強調表示されたテキストを入力して、SDF II に生成の要件を伝えます。(パネルのフィールドの内容が、例に示されているのと同じであることを確認してください。)



この演習でデータを入力するフィールドの意味は、以下のとおりです。

データ構造	/ を入力するとデータ構造が生成されます。
BMS マクロ	/ を入力すると BMS マクロが生成されます。
言語	データ構造をコード化するプログラム言語の名前を示します。 SDF II は、CICS/BMS に対して アセンブラー、COBOL、PL/I、および RPG II をサポートします。SDF II は、データ構造の定義がそのプログラム言語の構文に適合するかどうかを検査します。
サプライブラリーネーム	データ構造または制御ブロックを入れるサプライブラリーの名前を指定します。データ構造の場合、そのメンバー名は生成名になります。制御ブロックの場合、そのメンバー名は、生成名に 1 文字の BMS 接尾部を加えた名前になります。

他のフィールドの意味については、オンライン・ヘルプまたはオンライン解説を参照してください。

2. Enter キーを押します。これにより、SDF II は、ENI パネルに対するデータ構造および BMS マクロを生成します。

SDF II がオブジェクトの生成を終了すると、生成メッセージのリストを表示します。

生成メッセージの処理

以下は、生成メッセージ・リストの例です。

このメッセージ・リストには、情報メッセージのみが示されており、生成が正しく完了したことを見ています。また、出力ファイルも識別されています。

ENI パネルが SDF II が検査するすべての CICS/BMS 規則に準拠していない場合、何らかのエラー・メッセージが示されるはずです。エラー・メッセージは、モノクローム端末では高輝度表示で、カラー端末ではコントラスト・カラーで表示されます。

メッセージの詳細を調べたい場合には、そのメッセージの前の行コマンドのエリアに ? を入力します。

生成メッセージのリストをスクロールすることや、印刷することができます。

メッセージの印刷

- 表示されたメッセージをシステム・プリンターで印刷するには、以下のように / をタイプします。

/ Print messages

2. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。「生成メッセージ・リスト」パネルを終了すると、メッセージのリストが印刷されます。

SDF II 生成の結果

以下は、ENI パネルに対する BMS マクロを示しています。

```

ENI      PRINT ON,NOGEN
        DFHMSD TYPE=MAP,LANG=COBOL,MODE=INOUT,STORAGE=AUTO,SUFFIX=3
        TITLE 'eni panel'
ENI      DFHMDI SIZE=(32,80),MAPATTS=(COLOR,HIGHLIGHT),DSATTS=(COLOR,HILI*
        GHT),COLUMN=1,LINE=1,PARTN=(P0),DATA=FIELD,TIOAPFX=YES, *
        JUSTIFY=(LEFT),OBFMT=NO
        DFHMDF POS=(1,12),LENGTH=57, *
        INITIAL='*****',ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(2,12),LENGTH=57, *
        INITIAL='** U N I V E R S A L   M A I L   O R D E R   H *'
        O U S E **',ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(3,12),LENGTH=57, *
        INITIAL='*****',ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(7,20),LENGTH=41, *
        INITIAL='This program is designed for entering new', *
        ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(8,28),LENGTH=24, *
        INITIAL='items into the database.',ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(9,20),LENGTH=41, *
        INITIAL='Complete each field and then press Enter.', *
        ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(12,12),LENGTH=9,INITIAL='Category:',ATTRB=(PROT,NO*
        RM)
* CATEG          ENICATEG
ENICATE  DFHMDF POS=(12,25),LENGTH=20,ATTRB=(UNPROT,NORM)
        DFHMDF POS=(12,46),LENGTH=0,ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(12,55),LENGTH=5,INITIAL='Price',ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(14,12),LENGTH=12,INITIAL='Item number:', *
        ATTRB=(PROT,NORM)
* ITEM           ENIITEM
ENIITEM  DFHMDF POS=(14,25),LENGTH=8,ATTRB=(UNPROT,NORM)
        DFHMDF POS=(14,34),LENGTH=0,ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(14,55),LENGTH=5,INITIAL='U.S.$:',ATTRB=(PROT,NORM)
* US             ENIUS
ENIUS    DFHMDF POS=(14,61),LENGTH=8,ATTRB=(UNPROT,NORM)
        DFHMDF POS=(14,70),LENGTH=0,ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(15,55),LENGTH=5,INITIAL='F.Fr:',ATTRB=(PROT,NORM)
* FFR            ENIFFR
ENIFFR   DFHMDF POS=(15,61),LENGTH=8,ATTRB=(UNPROT,NORM)
        DFHMDF POS=(15,70),LENGTH=0,ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMDF POS=(16,12),LENGTH=18,INITIAL='Price valid until:', *
        ATTRB=(PROT,NORM)
* DATE          ENIDATE
* DATE          ENIDD
ENIDD    DFHMDF POS=(16,31),LENGTH=2,ATTRB=(UNPROT,NORM), *
        GRPNAME=ENIDATE
* DATE          ENIMM
ENIMM    DFHMDF POS=(16,33),LENGTH=2,GRPNAME=ENIDATE
* DATE          ENIYYYY
ENIYYYY DFHMDF POS=(16,35),LENGTH=4,GRPNAME=ENIDATE
        DFHMDF POS=(16,40),LENGTH=0,ATTRB=(PROT,NORM)
        DFHMSD TYPE=FINAL
        END

```

SDF II 生成の結果

以下は、ENI パネルに対するデータ構造を示しています。

```
*****
* eni panel
*****
01 ENII.
  02 FILLER  PIC X(12).
  02 ENICATEGL  COMP PIC S9(4).
  02 ENICATEGF  PIC X.
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENICATEGI  PIC X(20).
  02 ENIITEML  COMP PIC S9(4).
  02 ENIITEMF  PIC X.
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENIITEMI  PIC X(8).
  02 ENIPRICEI .
    05 ENIUSL  COMP PIC S9(4).
    05 ENIUSF  PIC X.
    05 FILLER  PIC X(2).
    05 ENIUSI  PIC X(8).
    05 ENIFFRL  COMP PIC S9(4).
    05 ENIFFRF  PIC X.
    05 FILLER  PIC X(2).
    05 ENIFFRI  PIC X(8).
  02 ENIDATEL  COMP PIC S9(4).
  02 ENIDATEF  PIC X.
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENIDATEI .
    05 ENIDDI  PIC X(2).
    05 ENIMMI  PIC X(2).
    05 ENIYYYYI  PIC X(4).
*****
* eni panel
*****
01 ENIO REDEFINES ENII.
  02 FILLER  PIC X(12).
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENICATEGA  PIC X.
  02 ENICATEGC  PIC X.
  02 ENICATEGH  PIC X.
  02 ENICATEGO  PIC X(20).
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENIITEMA  PIC X.
  02 ENIITEMC  PIC X.
  02 ENIITEMH  PIC X.
  02 ENIITEMO  PIC X(8).
  02 ENIPRICEO .
    05 FILLER  PIC X(2).
    05 ENIUSA  PIC X.
    05 ENIUSC  PIC X.
    05 ENIUSH  PIC X.
    05 ENIUSO  PIC X(8).
    05 FILLER  PIC X(2).
    05 ENIFFRA  PIC X.
    05 ENIFFRC  PIC X.
    05 ENIFFRH  PIC X.
    05 ENIFFRO  PIC X(8).
  02 FILLER  PIC X(2).
  02 ENIDATEA  PIC X.
  02 ENIDATEC  PIC X.
  02 ENIDATEH  PIC X.
  02 ENIDATEO .
    05 ENIDDO  PIC X(2).
    05 ENIMMO  PIC X(2).
    05 ENIYYYYO  PIC X(4).
```

第5章 SDF II による CICS/BMS マクロの定義方法

SDF II と CICS/BMS では、類似の概念を説明するのに異なる用語が使用されます。本章では、それらの用語と概念を対比しています。

対比の後で、SDF II に対する CICS/BMS オペランドおよびパラメーターの定義の方法と場所の詳細を説明しています。

SDF II 用語と CICS/BMS における同義語

SDF II の用語	概念	CICS/BMS の用語
パネル	1 つまたは複数の形式と 1 つのデータ構造から構成されるオブジェクト。	マップ
パネル・グループ	関連する SDF II パネルのリストから構成されるオブジェクト。	マップ・セット
データ構造	アプリケーション・プログラムによるデータの提供方法、またはアプリケーション・プログラムへのデータの受け渡し方法を記述しているパネルのパート。	記号記述マップ

SDF II 編集プログラム

次の 3 つの SDF II 編集機能が CICS/BMS 定義の作成に使用されます。

- パネル編集機能
- パネル・グループ編集機能
- 区分セット編集機能

これらの編集機能は、「SDF II 機能の選択」パネルから使用することができます。関連する編集機能を開始する時点で、最初にその編集機能の識別パネルに SDF II オブジェクト名と関連する装置タイプを入力する必要があります。次に、SDF II は関連する編集機能対話パネルを表示します。

編集機能のパネルの以下の説明では、CICS/BMS マクロ情報の定義に必要な選択項目のみを説明しています。

DFHMDF マクロの作成

このマクロのパラメーターは、次のとおりです。

図 1. SDF II における DFHMDF パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
適用外	SDF II では生成されない	
DECPOS	DGIPPECx フィールド特性の編集	小数点位
ATTRB	DGIPPEAVB フィールド属性の編集	輝度、保護、検出可能
CASE		大文字
COLOR		カラー
HIGHLIGHT		強調表示
JUSTIFY		位置調整
OUTLINE		アウトライン
PS, SOSI		形式
TRANSP		不透明
VALIDIN		妥当性検査
INITIAL	DGIPPE20 形式の定義	背景または定数フィールドのテキスト、 または変数フィールドの初期値 イニシアルとして生成される
XINIT		
LENGTH	DGIPPE30 フィールドの定義	桁数
OCCURS		生成数； DGIMDF マクロは指定された回数生成される
POS		行、桁
GRPNAMEx	DGIPPE50 構造の定義	名前 COBOL および PL/I のピクチャーを定義できる
PICIN,		
PICOUT		

DFHMDI マクロの作成

DFHMDI マクロに対し生成されるマップ名は、「パネル特性の定義」パネルの生成名フィールドで提供されます。これを指定しない場合、「パネルの識別」パネルの名前フィールドに入力された名前が使用されます。

図 2 (1/2). SDF II における DFHMDI パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
COLOR	適用外	これらのパラメーターは SDF II では DFHMDF マクロにより 処理される
HIGHLIGHT		
PS, SOSI		
TRANSP		
VALIDIN		
COLUMN	DGIPPE66x 特性	桁、省略時値=1
CURSLOC		カーソル位置
DATA		フィールド形式 (DATA)
FLDSEP		フィールド分離記号
HEADER		見出しマップ
JUSTIFY		行、桁
LINE		行
OBFMT		外部形式
PARTN		区分名
TIOAPFX		入出力接頭部
TRAILER		後書きマップ

図 2 (2/2). SDF II における DFHMDI パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
CTRL	DGIP66x BMS 特性の定義	Alarm Free keyboard Reset MDT Start printer Print width (CTRL=ALARM が生成される) (CTRL=FREEKB が生成される) (CTRL=FRSET が生成される) (CTRL=PRINT が生成される) (CTRL=L40、L64、L80、または HONEOM)
DSATTS	DGIP10x パネル特性の定義	動的フィールド属性の修正
EXTATT	適用外	適用外
KEXTATT	適用外	適用外
FIELDS	適用外	適用外
MAPATTS	DGIP10x パネル特性の定義	動的フィールド属性修正、または適切な属性がフィールドに定義される
SIZE	DGIP10x パネル特性の定義	桁数

DFHMSD マクロの作成

DFHMSD マクロに対し生成されるマップ・セット名は、パネル・グループ編集機能の「BMS 特性の定義」パネルの生成名フィールドで提供されます。これを指定しない場合、「パネル・グループの識別」パネルの名前フィールドに指定された名前が使用されます。

図 3 (1/2). SDF II における DFHMSD パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
TERM	適用外	適用外
COLOR	適用外	これらのパラメーターは SDF II では DFHMDF マクロにより処理される
HIGHLIGHT		
OUTLINE		
PS, SOSI		
TRANSP		
VALIDN		
CTRL	適用外	これらのパラメーターは SDF II では DFHMDI マクロにより処理される
DATA		
DSATTS		
EXTATT		
FLDSEP		
MAPATTS		
OBFMT		
PARTN		
TIOAPFX		
BASE	DGIP10x パネル特性の定義	基本
FOLD		大文字変換
STORAGE		記憶クラス
HTAB	DGIP66x BMS 特性の定義	水平
VTAB		垂直
MODE		モード (入力パネル、出力パネル)
LANG	DGICE13 生成パラメーターの指定	言語
LDC	DGIGE11x パネル・グループ BMS 特性	LDC
SUFFIX	DGIKE10 装置テーブル	BMS

図 3 (2/2). SDF II における DFHMSD パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
TRIGRAPH TYPE	DGICE10 生成パラメーターの指定	3 文字 CICS/BMS マクロの生成 (TYPE=MAP は DFHMSD マクロで生成され、 TYPE=FINAL はマップ・セットの最後のマクロとなる)

DFHPDI マクロの作成

DFHPDI マクロに対して生成される区分名は、「区分定義」パネルの名前フィールドで提供されます。次に、「BMS 特性の定義」パネルが SDF II で使用され、SDF II オブジェクト名が、割り当てられた区分名に関連付けられます。

図 4. SDF II における DFHPDI パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
ATTRB	DGISE20 区分の定義	エラー
BUFSZE		バッファー
CHARSZE		セルの縦の長さ、セルの幅
MAPSFX		他のオペランドから算出される
VIEWPOS		行、桁
VIEWSZE		縦の長さ、幅

DFHPSD マクロの作成

DFHPSD マクロに対して生成される区分セット名は、「区分セット特性の定義」パネルの生成フィールドで提供されます。これを指定しない場合、「区分セットの識別」パネルの名前フィールドに入力された名前が使用されます。このマクロの他のパラメーターは、次のように定義されます。

図 5. SDF II における DFHPSD パラメーターの入力場所

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
ALTSCRN	DGISE10 区分セット特性の定義	使用可能域のサイズの指定
CHARSIZE		文字セル・サイズの指定

パラメーター	SDF II パネル ID、パネル名	フィールド
SUFFIX	DGIKE10 装置テーブル	BMS

第6章 在庫管理アプリケーションの例

前の章では、1つの形式とデータ構造を持つ CICS/BMS の単純なパネルを定義しました。これは、単純な BMS マップの定義に対応します。

SDF II を使用して、より複雑なオブジェクトを定義することができます。主なタスクは以下のとおりです。

- パネルの BMS 特性の定義
- パネル・グループの定義
- 複数の形式を持つパネルの定義
- 区分セットの定義

他のターゲット・システムで使用するために、CICS/BMS 用に定義されたパネルを変換することもできます。

これ以降の章では、単純な在庫管理アプリケーション、Stock In Hand (SIH) はこれらの機能を示しています。

この章、第7章、および第8章 では、パネル・グループの定義に関連するタスクを行います。

- この章では、パネル・グループで使用される 3 つのパネルを定義します。
- 第7章では、BMS のページ作成機能が同時にこれらの 3 つのパネルを表示できるように、パネルを詳細に定義します。
- 第8章 では、そのパネル・グループの定義、テスト、および生成を行います。

SIH アプリケーション

在庫管理の担当者は、SIH アプリケーションを使用して、通信販売会社の保有する在庫レベルの照会を行います。SIH アプリケーションは、以下のページを表示します。

***** ** U N I V E R S A L M A I L O R D E R H O U S E ** *****		
Category:	Date:	
<hr/>		
Item number:	Name:	Quantity:
Description:		
<hr/>		
Item number:	Name:	Quantity:
Description:		
<hr/>		
Item number:	Name:	Quantity:
Description:		
<hr/>		
Total goods in stock:		Total value US.\$: F.Fr:

データベースの品目について照会するには、ユーザーは以下を行います。

1. 不定様式の画面に品目の名前を入力して、プログラムを呼び出す。
2. いくつかのブランク・フィールドを含むパネルが表示される。
3. **Category** フィールドを埋める。
4. Enter キーを押す。
5. すべてのフィールドに情報が表示された同じパネルが再度表示される。たとえば、次のとおりです。
 - 時計などのカテゴリーの場合、SIH アプリケーションは以下を表示します。
 - 在庫合計数
 - 在庫合計金額

- 特定の時計などの個々の品目の場合には、以下を表示します。

- その品目番号
- その品目名
- その説明
- それらの品目の合計数

6. 必要に応じて、パネルをスクロールする。

これで、SIH アプリケーションは終了します。

SIH 出力ページ

SIH アプリケーションは、1 ページのみの出力を表示します。ただし、このページは 3 つの別個に定義されたパネルから構成されます。

- 見出し パネル。これは、ページの最上部に表示され、**Category** フィールドおよび **Date** フィールドを含みます。これは SIHHEAD と呼ばれます。
- 本体 パネル。これは、ページの中心部に 3 回表示され、個々の品目用に予約されたフィールドを含みます。これは SIHBODY と呼びます。
- 後書き パネル。これは、ページの最下部に表示され、選択されたカテゴリーの品目の合計数と合計値を表示するフィールドを含みます。これは SIHFOOT と呼ばれます。

ユーザーは、本体パネルをスクロールダウンして、選択されたカテゴリーの次の 3 つの品目を見ることができます。

SIHHEAD パネルは、以下のように表示されます。

<pre>***** ** U N I V E R S A L M A I L O R D E R H O U S E ** *****</pre>	
Category:	Date:
<hr/> <hr/>	

SIHHEAD パネルの定義

SIHBODY パネルは、以下のように表示されます。

Item number:	Name:	Quantity:
Description:	-----	

SIHFOOT パネルは、以下のように表示されます。

Total goods in stock:	Total value US.\$: F.Fr:

パネルの定義

この章と以降の章では、3つのパネルの識別と定義を行い、すべてのパネルが同時に画面に収まるように各サイズを調整します。

最初にページの3つのパネルを別個に定義します。その後、第8章では、3つのパネルをパネル・グループとして、つまり共通機能を持つパネルのリストとして定義します。

SIHHEAD パネルの定義

このプロセッサーは「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. コマンド行に 1 を入力して、「パネルの識別」パネルを表示します。
2. 強調表示されたテキストを入力します。

Option ==> 2

BLANK 既存パネルの編集

- 1 骨組みパネルからの新規パネルの作成
- 2 CICS/BMS のスクラッチからの新規パネルの作成

パネルの識別

名前 . . ; sihhead
ライブラリ - : 1

Enter キーを押すと、「編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。

3. コマンド行に 1 を入力して、「パネル特性の定義」パネルを表示します。
4. 強調表示されたテキストを入力します。

記述 header for sih application
 目標システム CICS/BMS
 生成名 _____

型式サイズ	長さ 9	幅 80
-------	----------------	----------------

SDF II は、ページの 9 行のみを占めるように、SIHHEAD パネルの形式のサイズを再定義します。

5. コマンド行に **2** を入力して、「形式の定義」パネルを表示します。
6. 001 行に **col** を入力して、けい線(目盛り)を入れます。
7. 強調表示されたテキストを入力して、SIH 見出しの形式およびフィールドを定義します。

```
!!! <---:----1----:----2----:----3----:----4----:----5----:----6----:--  

001  

002 /*****  

003 /* U N I V E R S A L M A I L O R D E R H O U S E */  

004 /*****  

005  

006 Category: _,20,categ Date: _,8,date  

007  

008 /-----/  

009 /-----/  

!!! END OF DATA *****/
```

注: 8 行目と 9 行目に、ハイフン(下線ではなく)を使用します。

8. **End** キー(PF3)を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。
 ここで、SIHHEAD パネルの形式の定義が完了しました。パネルの属性を定義して、そのテストを行いたい場合には、ここで行います。これを行うには、*SDF II R6 概要説明*の参照が役立ちます。
9. **End** キー(PF3)を押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
10. 保管を選択してオブジェクトの保管を行って、「パネルの識別」パネルに戻ります。

SIHBODY パネルの定義

SIHHEAD パネルの定義と同じ方法で SIHBODY パネルを定義します。

1. 「パネルの識別」パネルに以下に示している強調表示されたテキストを入力します。

Option ==> 2

BLANK 既存パネルの編集
 1 骨組みパネルからの新規パネルの作成
 2 CICS/BMS のスクラッチからの新規パネルの作成

パネルの識別
 名前 sihboby
 ライブラリ 1

Enter キーを押すと、「編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。

2. コマンド行に **1** を入力して、「パネル特性の定義」パネルを表示します。

SIHFOOT パネルの定義

3. 強調表示されたテキストをタイプします。

記述	<u>body for sih application</u>
目標システム	CICS/BMS
生成名	_____
形式サイズ	
長さ	<u>4</u>
幅	<u>80</u>

4. コマンド行に **2** を入力して、「形式の定義」パネルを表示します。
5. 001 行に **col** を入力して、けい線(目盛り)を入れます。
6. 強調表示されたテキストをタイプして、SIH 本体の形式およびフィールドを定義します。

```
''' <----:----1----:----2----:----3----:----4----:----5----:----6----:--  
001           Item number: _,8,item Name: _,7,name Quantity: _,4,qnty  
002           Description: _,44,descrip1  
003           _,44,descrip2  
004 /-----/  
''' END OF DATA *****
```

7. **End** キー (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。
これで、SIHBODY パネルの形式の定義が完了しました。パネルの属性を定義して、そのテストを行いたい場合には、ここで行います。
8. **End** キー (PF3) を押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
9. 保管を選択してオブジェクトの保管を行って、「パネルの識別」パネルに戻ります。

SIHFOOT パネルの定義

SIHBODY パネルの定義と同じ方法で SIHFOOT パネルを定義します。

1. 強調表示されたテキストを入力します。

Option ===> 2

BLANK 既存パネルの編集
1 骨組みパネルから新規パネルの作成
2 CICS/BMS のスクラッチからの新規パネルの作成

パネルの識別
名前 sihfoot
ライブラリ 1

Enter キーを押すと、「編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。

2. コマンド行に **1** を入力して、「パネル特性の定義」パネルを表示します。

- 強調表示されたテキストをタイプします。

記述 trailer for sih application
 目標システム CICS/BMS
 生成名 _____

型式サイズ	長さ <u>11</u>	幅 <u>80</u>
-------	------------------------	-----------------------

- コマンド行に **2** を入力して、「形式の定義」パネルを表示します。
- 001 行に **col** を入力して、けい線(目盛り)を入れます。
- このパネルはピリオド文字(.)をテキスト文字として使用するので、最初に「マークの定義」ダイアログで **Constant**(定数)マークを正符号(+)に変更します。その後で「形式の定義」ダイアログを続けます。
- 「形式の定義」パネルで、強調表示されたテキストをタイプして、SIH 後書きの形式およびフィールドを定義します。

```
''<----:---1---:---2---:---3---:---4---:---5---:---6---:--  

001 /-----/-----/  

002  

003          Total goods  

004          in stock: _,5,total  

005          Total value  

006          US.$: _,8,ustotal  

007          F.Fr: _,8,ffrtotal  

008  

009  

010  

011  

''' END OF DATA *****
```

- End キー(PF3)を押して、「パネル編集機能ダイアログ」パネルに戻ります。
 これで、パネルの形式の定義が完了しました。パネルの属性を定義して、そのテストを行いたい場合は、ここで行います。
- End キー(PF3)を押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
- 保管を選択してオブジェクトの保管を行って、「パネルの識別」パネルに戻ります。

SIHFOOT パネルの定義

第7章 BMS 特性の定義

SIH アプリケーションは、SIHHEAD、SIHBODY、および SIHFOOT パネルを單一ページとして表示します。ページを作成するには、SDF II は画面上の各パネルの位置を知る必要があります。

ページ上で、あるパネルを他のパネルの下に(縦方向に並べて)配置します。これは、可能な唯一の配置ではありません。たとえば、個々のパネルを横に並べて配置することができます。個々のパネルを縦方向、および横方向に並べた配置を組み合わせることによって、ほとんどいかなるパネルの配置でも表示することができます。

ページ上で、最初の SIHBODY パネルは、SIHHEAD パネルの後の次のパネルになります。同様に、SIHFOOT パネルは、最後の SIHBODY パネルの次のパネルになります(本体パネルは 3 回生じます)。パネル編集機能の「BMS 特性の定義」ダイアログで、個々のパネルの位置決めの情報を入力します。

SIHHEAD パネルは、SDF II によって省略時の位置として、すでにページの最上部に位置決めされています。

SIHHEAD の位置の定義

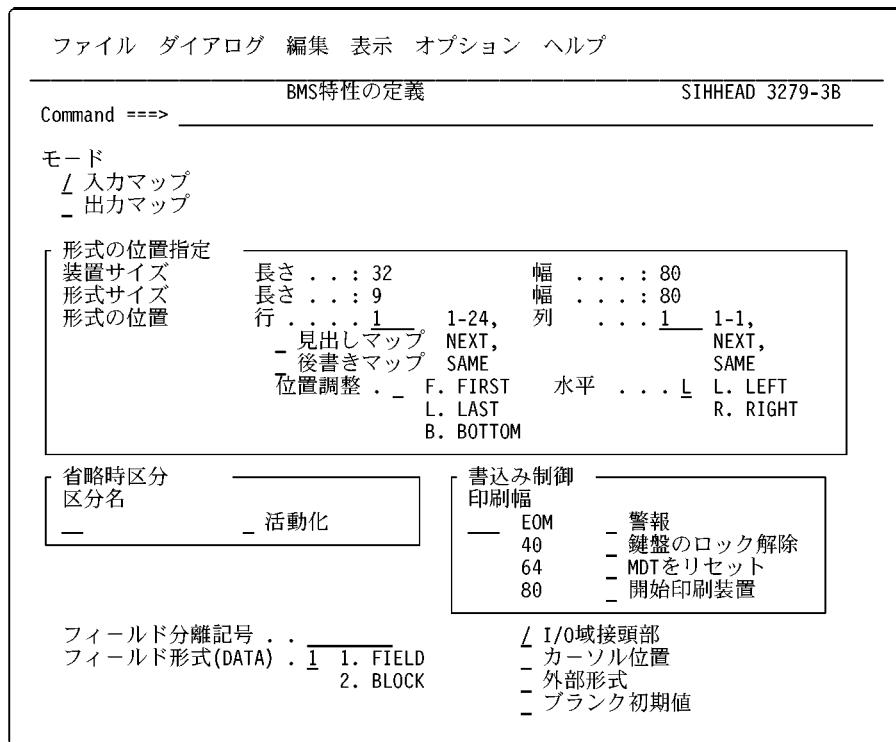
このプロシージャーは「パネルの識別」パネルから開始します。

1. 強調表示されたテキストを入力します。

名前 sihhead

2. 「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルのコマンド行に **6** を入力して、「BMS 特性の定義」パネルを表示します。

SIHHEAD の位置の定義



以下は、パネルで使用されているオプションの意味です。

パネル位置 行および列の入力項目に数値、**next** (次)、または **same** (同じ) を入力します。

数値の入力は、ユーザーが指定する行と列に、パネルの左上隅を位置決めします。ワードの入力は、先行のパネルとの相対的な位置にパネルを配置します。

next 画面上の次の自由行または自由列にパネルを配置します。

same 数値入力で位置決めされた最後のパネルと同じ行または列に、現行パネルを配置します。

パネルの位置調整 行入力項目に、**first** (最初)、**last** (最後)、または **bottom** (最下位) を入力します。列入力項目に、**left** (左) または **right** (右) を入力します。

これらの入力項目は、パネル位置の入力項目に影響を与えます。詳細については、オンライン解説を参照してください。

3. 強調表示されたテキストをタイプして、SIHHEAD パネルをページ上の次の行の最初の列に位置決めします。

形式の位置 行 1 1-24, 列 1 1-1,
— 見出しマップ NEXT,
— 後書きマップ SAME

4. **End** キーを (PF3) 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。

5. **保管**を選択してオブジェクトの保管を行って、「パネルの識別」パネルを表示します。

SIHBODY の位置の定義

このプロシージャーは「パネルの識別」パネルから開始します。

1. 強調表示されたテキストを入力します。

名前 sihbody

2. 「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルのコマンド行に **6** を入力して、「BMS 特性の定義」パネルを表示します。
3. 強調表示されたテキストをタイプして、SIHBODY パネルを浮動域の次の行の最初の列に位置決めします。

形式の位置	行 <u>next</u> 1-29,	列 . . . <u>1</u> 1-1,
	<u>見出しマップ</u> NEXT,	<u>NEXT,</u>
	<u>後書きマップ</u> SAME	SAME

4. **End** キーを (PF3) 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
5. **保管**を選択してオブジェクトの保管を行って、「パネルの識別」パネルを表示します。

SIHFOOT の位置の定義

1. 「パネルの識別」パネルに強調表示されたテキストを入力します。

名前 sihfoot

Enter キーを押すと、SDF II は、SIHFOOT パネルに対する「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルを表示します。

2. コマンド行に **6** を入力して、「BMS 特性の定義」パネルを表示します。
3. 強調表示されたテキストを入力します。これは、SIHFOOT パネルをページの最下位に位置決めするための中間のステップです。

形式の位置	行 <u>next</u> 1-22,	列 . . . <u>1</u> 1-1,
	<u>見出しマップ</u> NEXT,	<u>NEXT,</u>
	<u>後書きマップ</u> SAME	SAME

これは、SIHFOOT パネルの最上部を画面ページの 22 行目に位置決めします。パネルは画面ページの最下部を占有します。

4. **End** キーを (PF3) 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
5. **保管**を選択して SIHFOOT パネルの新たな特性の保管を行って、「パネルの識別」パネルに戻ります。
6. **End** キーを押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

SIHFOOT の位置の定義

第8章 パネル・グループの定義

パネル・グループは、パネルのリストです。リストのすべてのパネルは、共通特性を持っています。パネル・グループが生成されると、そのパネル・グループはリスト中の各 SDF II パネルごとに 1 つの CICS/BMS マップを含む CICS/BMS マップ・セットを形成します。

パネル編集機能でパネル・グループを定義する前に、個々のパネルをパネル編集機能で定義します。これは前の章で行いました。

この章では、以下を行う方法を説明します。

- パネル・グループ SIHINQ の特性を定義する。これらの特性は、そのパネル・グループのすべてのパネルに関連します。
- SIHINQ パネル・グループを定義する。このパネル・グループは、SIHHEAD、SIHBODY、および SIHFOOT パネルから構成されます。
- パネル・グループをテストする。

パネル・グループの識別

このステップは、「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. コマンド行に **2** を入力して、「パネル・グループの識別」パネルを表示します。
2. 強調表示されたテキストを入力します。

出口 表示 オプション ヘルプ
パネル・グループの識別
Option ==> <u>2</u>
BLANK 既存パネル・グループの編集 1 骨組みパネル・グループからの新規パネル・グループの作成 2 CICS/BMS のスクラッチからの新規パネル・グループの作成
パネル・グループの識別 名前 : <u>sihing</u> ライブラリー : <u>1</u>
骨組みから新規パネル・グループを作成する時、骨組みを識別 名前 : _____
スクラッチから新規パネル・グループを作成する時、装置タイプを識別 装置タイプ : <u>3279-3b</u>

省略時のパネル・グループの名前を入力すると、SDF II は、そのパネル・グループの装置タイプと特性を使用します。省略時パネル・グループを命名しない場合は、SDF II に、アプリケーション・プログラムがそのパネル・グループを表示する装置タイプを伝える必要があります。

パネル・グループのパネル・リストの定義

Enter キーを押すと、「パネル・グループ編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。

ファイル 表示 オプション ヘルプ	
パネル・グループ編集機能ダイアログ選択	
Option ==>	_____
1 特性	目標システム依存情報の定義
2 リスト	パネル・グループ内のパネルのリストの定義
3 記号セット	プログラム式記号セットのリストの定義
4 レイアウト・テスト	テストに含めるべきパネルの定義
5 テスト	実行時形式でパネル（複数）を表示
6 インスタンス	パネル・グループ・インスタンスの定義

SIHINQ オブジェクトが「パネルの識別」パネルで初めて定義されると、メッセージ New object created (新規オブジェクトが作成された) が「パネル・グループ編集機能ダイアログの選択」パネルの最上部に表示されます。

パネル・グループ特性の定義

1. コマンド行に **1** を入力して、「BMS 特性の定義」パネルを表示します。
 2. 強調表示されたテキストをタイプします。

記述 panel group for sih inquiry

3. コマンド行に **2** を入力して、「パネル・リストの定義」パネルを表示します。

パネル・グループのパネル・リストの定義

1. コマンド行に **2** を入力して、「パネル・リストの定義」パネルを表示します。
 2. **i3** 行コマンドを入力して、3行のブランク行を挿入します。

このパネルで、パネル・グループに組み込みたいすべてのパネルの名前をリストします。SDF II は、これらのパネルの存否は検査しません。すべてのパネルがパネル・グループの共通の特性を持つように、このリストを作成します。

3. 次のように、パネル・グループを構成するパネルの名前を入力します。

```
Panels . . . .
Name ---  
TOP OF DATA ***  
sihhead  
sihbody  
sihfoot  
END OF DATA ***
```

e (編集) 行コマンドをパネル名の前に入力して、パネル編集機能を使用して、そのパネルの表示または修正を行うことができます。その後 End キー (PF3) を押した時点で、「パネル・リストの定義」パネルが再表示されます。

ユーザーがパネル・グループを生成すると、 SDF II は、各パネルごとに CICS/BMS マクロおよびデータ構造をユーザーがパネルをリストした順序で作成します。

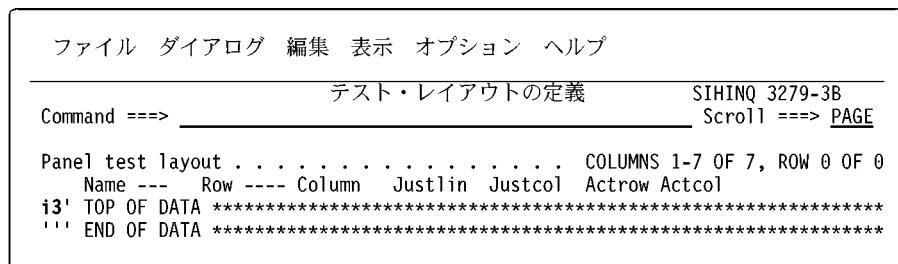
「パネル編集機能」ダイアログでパネルを作成する時点で、そのパネルが表示される装置タイプを指定します。SDF II は、パネル・グループの各パネルの装置タイプが、パネル・グループの装置タイプと同じ場合にのみ、そのパネル・グループを正しく生成することができます。

これで、パネル・グループの生成が完了しました。

テスト・レイアウトの定義

パネル・グループをテストする前に、SDF II にパネルを表示する順序を伝える必要があります。これは、「テスト・レイアウトの定義」ダイアログで行います。そのプロシージャーは、パネル・リストの定義で使用したプロシージャーと多くの点で類似しています。

- 「パネル・グループ編集機能の選択」パネルのコマンド行に **4** を入力します。これにより、SDF II は「テスト・レイアウトの定義」パネルを表示します。
 - 次のように **i3** 行コマンドを入力して、**Top of data** の行の後に 3 行のブランク行を挿入します。



このパネルで、テスト用のパネル・グループのレイアウトを定義します。

「パネル・リストの定義」 パネルで識別したパネルのみを指定します。

このダイアログで、アプリケーション・プログラムによって表示されるページの外観をシミュレートします。このようなプログラムをコード化する場合には、BMS のページ作成機能を使用して、ページを作成します。

テスト・レイアウトの定義

3. テスト画面の左上隅から右下隅に向かって、SDF II に表示させたい順序でパネルの名前を入力します。

```
Panel test layout .
  Name --- Row
  !!! TOP OF DATA ***
  !!! sihhead
  !!! sihboby
  !!! sihfoot
  !!! END OF DATA ***
```

Enter キーを押すと、SDF II は、「テスト・レイアウトの定義」パネルの他の列見出しの下に情報を表示します。SDF II は、ユーザーがパネル編集機能の「BMS 特性の定義」パネルで入力した項目からそれらの情報を入手します。

「テスト・レイアウトの定義」パネルの表示は、以下のようになります。

The screenshot shows the SDF II command-line interface. The title bar says 'ファイル ダイアログ 編集 表示 オプション ヘルプ'. Below it, the command line says 'Command ==> テスト・レイアウトの定義' and the scroll position is 'SIHINQ 3279-3B Scroll ==> PAGE'. The main area displays the following table:

Name	---	Row	---	Column	Justlin	Justcol	Actrow	Actcol
SIHHEAD		1		N	L	1	1	
SIHBODY		NEXT		N	L	10	1	
SIHFOOT		NEXT		N	L	22	1	
END OF DATA *****								

ここで、テスト用のレイアウトは、SIHHEAD、SIHBODY、およびSIHFOOT の各パネルごとに、1 つずつのパネルで構成されます。ただし、SIH アプリケーションは、SIHBODY パネルの 3 つのパネルを伴うページを表示します。SIH アプリケーションの実行時に表示される通りにそのページを表示するには、SDF II は、テスト・レイアウトに SIHBODY パネルのコピーをさらに 2 つ必要とします。これを行うには、**r** (繰り返し) 行コマンドを使用します。

4. 次のように **r2** 行コマンドを入力して、SIHBODY パネルのコピーをさらに 2 つ作成します。

```
Panel test layout .
  Name --- Row
  !!! TOP OF DATA ***
  !!! SIHHEAD 1
  r2 SIHBODY NEXT
  !!! SIHFOOT NEXT
  !!! END OF DATA ***
```

「テスト・レイアウトの定義」パネルで使用できる他の行コマンドは、**a** (後)、**b** (前)、**c** (複写)、**d** (削除)、**i** (挿入)、**m** (移動)、および**/** (現在行設定) です。

Enter キーを押すと、SDF II は、「テスト・レイアウトの定義」パネルの列見出しの下に挿入されたパネル名の情報を表示します。SDF II は、ユーザーがパネル編集プログラムの「BMS 特性の定義」パネルで入力した項目からそれらの情報を入手します。

これで、テスト・レイアウトが完了しました。

パネル・グループのテスト

- 「テスト・レイアウトの定義」パネルのコマンド行に **test** (テスト) を入力します。SDF II は、パネル・グループをユーザーに対して表示される通りに表示します。

<pre>***** ** U N I V E R S A L M A I L O R D E R H O U S E ** *****</pre>		
Category:	Date:	
<hr/>		
<hr/>		
Item number: Description:	Name:	Quantity:
<hr/>		
<hr/>		
Item number: Description:	Name:	Quantity:
<hr/>		
<hr/>		
Total goods in stock:		Total value US.\$: F.Fr:

- End** キー (PF3) を 3 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
- 保管を選択して SIHINQ パネル・グループの定義を保管し、「パネル・グループの識別」パネルに戻ります。
- End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

パネル・グループの生成

- コマンド行に **6** を入力して、「生成対象の識別」パネルを表示します。
- 強調表示されたテキストをタイプします。

名前	ライブラリー	タイプ	
<u>sihinq</u>	<u>1</u>	<u>g</u>	P. PANEL

SDF II は、ユーザーが名前フィールドに指定したオブジェクトが見つかるまで、すべてのライブラリーを検索します。SDF II は、そのパネル・グループが定義されるターゲット・システムから、生成のためのターゲット・システムの選択も行います。

- Enter** キーを押して、「生成パラメーターの指定」パネルを表示します。

パネル・グループの生成

4. 生成パラメーターが15ページに示されているのと同じであることを確認します。
5. **Enter** キーを押します。これにより、SDF II は、SIHINQ パネルに対するデータ構造および BMS マクロを生成します。

注: SDF II パネル・グループは、各装置タイプごとに 1 つの CICS/BMS マップ・セットを生成します。マップ・セットは、パネル・グループの各パネルごとに 1 つのマップを含みます。SDF II パネル・グループは、ユーザーの要求に応じて、データ構造も生成します。

SDF II は、パネル・グループの生成を完了すると、メッセージのリストを表示します。それらは、必ずしもエラー・メッセージとは限りません。(エラー・メッセージは、モノクローム端末では高輝度表示で、カラー端末ではコントラスト・カラーで表示されます。) メッセージのリストをスクロールすることや、印刷することができます。

メッセージのリストを終了した場合には、**End** キー (PF3) を 3 回押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

何らかのエラー・メッセージがある場合には、それらのエラーを訂正し、再度パネル・グループを生成します。

第9章 パネルへの装置および形式の追加

以前の章で、1つの装置タイプ用の1つの形式を持つ単純なパネルを定義しました。ただし、複数の装置タイプに対応するパネルを定義することができます。これを行うには、次の2つの方法があります。

- 装置リストに対する形式を定義する。装置リストは、ユーザーがそのパネルを表示したい装置タイプのリストです。装置リストのすべての装置タイプは、同じ形式を使用します。
- 他の装置タイプに対する形式を定義する。

この章では、他の装置タイプに対する形式の定義方法を説明します。

SDF II を使用して、各装置タイプごとに新規の形式を定義することができます。形式は、画面上のパネルの外観を定義します。すべての形式は、同じデータ構造を使用します。

新規の形式が元の形式と同じ変数フィールドを持つ場合には、形式を変更することができます。形式を変更すると、パネルは、異なるタイプの表示装置では外観が異なります。

他の変数フィールドを追加することはできますが、すべての形式が同じデータ構造を使用するので、該当のフィールドを他の形式に追加する必要があります。新規の形式を定義している過程でフィールドの追加、削除、または名前変更を行っていないことを確認するには、**preserve on (保存)** パネル・コマンドを入力します。その後でもフィールドの位置の変更や、テキストの追加、削除、または変更を行うことができます。

「パネル・インスタンスの定義」ダイアログでパネルに新規の形式を追加します。この章では、パネルに対する装置タイプの追加方法とその装置タイプに対する形式の変更方法を説明します。また、「パネル・インスタンスの定義」ダイアログで使用可能な行コマンドのいくつかを説明します。

パネルの識別

このプロシージャーは「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. コマンド行に **1** を入力して、「パネルの識別」パネルを表示します。最後に定義したパネルの名前、ライブラリー ID、および装置タイプが表示されるはずです。
2. 強調表示されたテキストを入力します。

名前 **eni**

SDF II は、「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルを表示します。

ここで説明しているプロシージャーはパネルに適用されます。ただし、これと同じ一般的なプロシージャーをパネル・グループおよび区分セットに対して使用します。パネル・グループ編集機能と区分セット編集機能の両方に同じダイアログがあります。

他の装置の定義

1. コマンド行に **8** を入力して、「パネル・インスタンスの定義」パネルを表示します。
 2. 以下に示しているように **r** 行コマンドを入力して、3279-3B の行を繰り返します。

r (繰り返し) 行コマンドは、ENI パネルの形式を複写します。代わりに **c** (複写) 行コマンドを使用して、形式を複写することもできます。**i** (挿入) 行コマンドは、ブランクの形式のみを作成します。

「パネル・インスタンスの定義」ダイアログで使用できる他の行コマンドは、**a** (後)、**b** (前)、**d** (削除)、**s** (選択)、および **l** (現在行の設定) です。

3. 強調表示されたテキストを入力して、IBM 3278-4 用の形式を追加します。

Sel Device
*** ==> 3279-3B
*** **3278-4**
*** *** END OF DATA

新規の表示装置の方が小さい場合、SDF II は、その形式からプランクの行と列を削除します。十分な行と列を削除できない場合には、SDF II はエラー・メッセージを表示します。

新規の表示装置の方が大きく、しかも **r** (繰り返し) または **c** (複写) の行コマンドを使用した場合には、SDF II は、元の形式と同じサイズを保持して、パネルを複写します。SDF II は、そのパネルを画面の左上隅に表示することになります。ユーザーは、さらにパネル編集機能の「形式の定義」ダイアログでパネルの位置を調整することができます。「パネル特性の定義」ダイアログで形式のサイズを該当の装置のフルサイズに調整することができます。

3278-4 装置用の形式の変更

1. 以下に示しているように `s` 行コマンドを入力して、さらに編集するために 3278-4 形式を選択します。

Sel Device
''' ==> 3279-3B
S''' 3278-4
''' *** END OF DATA

右上隅のテキストも、新規の装置タイプの名前 3278-4 を示すように変更します。

注: 複数の装置タイプに対して定義されているオブジェクトを処理する場合には、右上隅に現在表示されている装置タイプをチェックします。

2. **End** キー (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルを表示します。

3. コマンド行に **2** を入力して、ENI パネルに対する「形式の定義」パネルを表示します。
ENI に対する 3278-4 形式は、以下のように表示されます。

ファイル ダイアログ 編集 表示 オプション ヘルプ		形式の定義	ENI 3278-4
Command ==>			Scroll ==> PAGE
Format	POSITIONS 1-75 OF 80, LINE 1 OF 32	
MARKS:	V _ CO + SE , SP /	CONTENTS: FORMAT	
001			
002	*****	*****	*****
003	** U N I V E R S A L M A I L O R D E R H O U S E **		
004	*****	*****	*****
005			
006			
007	This program is designed for entering		
008	items into the database.		
009	Complete each field and then press Enter.		
010			
011			
012	Category: _____	Price	
013			
014	Item number: _____	US.\$: _____	
015		F.Fr: _____	
016	Price valid until: _____		
017			
018			
019			
020			
021			

4. 強調表示されたテキストを入力します。

```
!!! <---:---1---:---2---:---3---:---4---:---5---:---6---:  
018 /If item is priced in another currency/  
019 /convert to US dollars or French francs/  
020 /using current exchange rates./  
021
```

5. **End** キーを (PF3) 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
6. 保管を選択してオブジェクトを保管し、「パネルの識別」パネルに戻ります。
7. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

これで ENI パネルは、IBM 3278-4 と IBM 3279-3B 装置タイプに対して異なる形式を持つようになります。

ユーザーは、ENI アプリケーションで ENI パネルの新規の形式を使用する前に、新たな BMS マクロを作成する必要があります。すべての形式が同じデータ構造を持っているので、新規のデータ構造を生成する必要はありません。13ページの第4章、『ENI パネルの生成』では、これを行う方法を説明しています。

3278-4 装置用の形式の変更

第10章 区分セットの定義

区分セットは、1つまたは複数の区分から構成されます。区分は画面の長方形のエリアです。区分セットは、IBM 3180、IBM 3290、および IBM 8775 表示装置によりサポートされます。

区分セットが定義される装置でサポートされている場合には、異なる区分で、異なる文字セル・サイズを使用することができます。

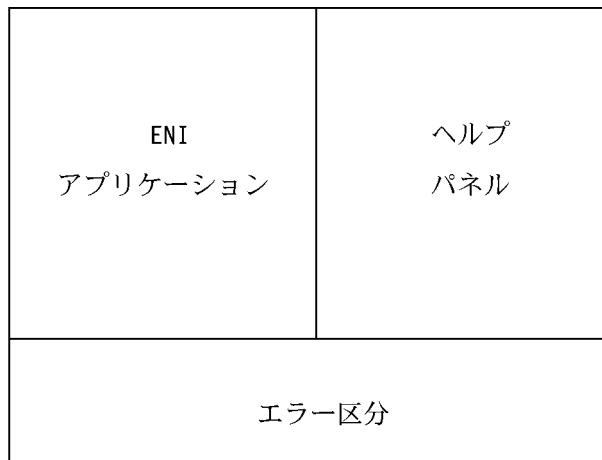
区分セットによる ENI アプリケーションの使用

以前に、新規の品目をデータベースに追加するアプリケーションに対するパネル (ENI) を定義しました。区分セットを使用して、このアプリケーションの機能拡張を行うことができます。

ENI アプリケーションを改善するために、3つの区分を使用します。各区分は以下を表示します。

- ENI アプリケーション
- ヘルプ・パネル
- メッセージ

区分された装置の画面は、以下のようになります。



1 時点でアクティブなのは、1つの区分のみです。区分にカーソルを位置づけることによって、区分をアクティブにします。区分セットを使用して ENI アプリケーションを操作するには、ユーザーは、ENI パネルを表示する区分にカーソルを位置づけて、ENI パネルにデータを入力します。アプリケーション・プログラムがエラーを検出すると、エラー区分にメッセージを表示します。次にユーザーは以下を行います。

1. HELP (ヘルプ) パネルを表示する区分にカーソルを位置づける。
2. HELP (ヘルプ) パネルの情報をスクロールして、メッセージに対する説明を調べる。
3. ENI パネルを表示する区分にカーソルを戻して、そのエラーを訂正する。

区分セットの識別

ENI アプリケーションで使用する区分セットを定義するには、以下を行います。

1. 区分セットを識別する。
2. その区分セットの特性を定義する。
3. その区分セットのレイアウトを定義する。
4. その区分セットをテストする。
5. その区分セットを生成する。

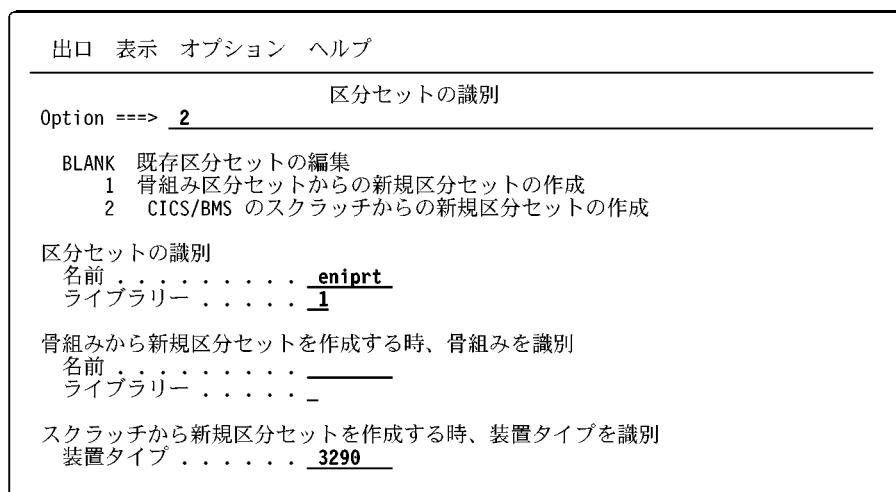
区分セットの識別

このプロシージャーは、「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

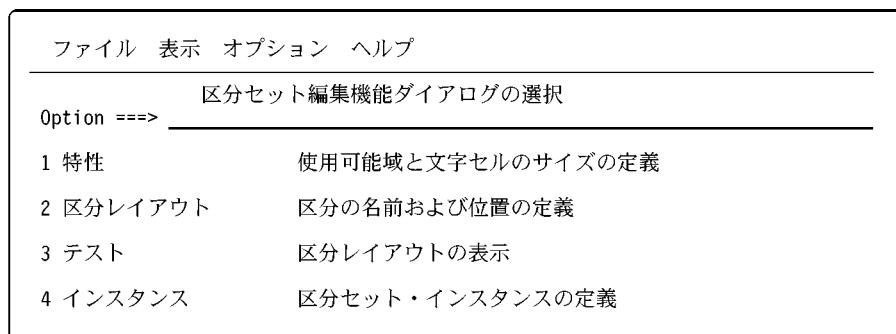
1. コマンド行に **3** を入力します。SDF II は「区分セットの識別」パネルを表示します。

SDF II に、アプリケーション・プログラムが区分セットを表示する装置のタイプを伝える必要があります。骨組み区分セットの名前を入力すると、SDF II は、その区分セットの装置タイプを使用します。骨組み区分セットを指定しない場合には、SDF II に装置タイプを伝える必要があります。

2. 強調表示されたテキストを入力します。



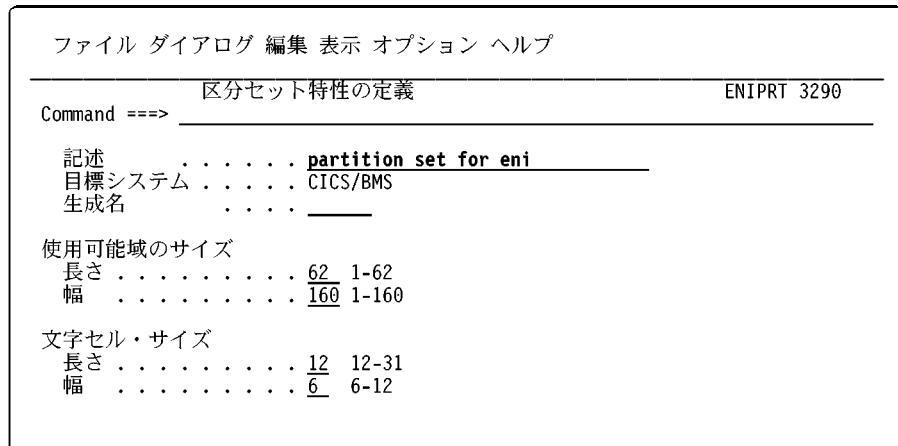
Enter キーを押すと、「区分セット編集機能ダイアログの選択」パネルが表示されます。



「パネルの識別」パネルで ENIPRT オブジェクトを初めて定義する時点では、メッセージ **New object created** (新規オブジェクトが作成された) が、「区分セット編集機能ダイアログの選択」パネルの最上部に表示されます。

区分セットの特性の定義

1. コマンド行に **1** を入力して、「区分セット特性の定義」パネルを表示します。
2. 強調表示されたテキストを入力します。



3. コマンド行に **2** を入力すると、SDF II は「区分定義」パネルを表示します。
4. 強調表示されたテキストを入力して、区分の配置とサイズを定義します。



区分 **p0** および **p1** は、32 列の縦の長さと 80 列の幅を持つように定義されます。区分 **p0** は、**Line** と **Column** フィールドの入力項目により、左上隅に表示されます。区分 **p1** は、**Column** フィールドの **next** の入力項目により、区分 **p0** の横に表示されます。

区分 **p2** は、**Line** フィールドの **next** の入力項目により、他の区分の下に表示されます。この区分の縦の長さは 12 行で、幅は 160 列です。また、区分 **p2** は、**Error** フィールドの **y** の入力項目によって、メッセージの経路指定先となる区分として定義されます。

区分セットに対する ENI パネルの定義

Enter キーを押すと、SDF II は区分に番号を付けます。「区分定義」パネルの表示は、次のようにになります。

区分セットのテスト

1. コマンド行に **3** を入力して、「区分セット編集機能ダイアログの選択」パネルのテスト機能を開始します。(test パネル・コマンドを入力して、区分セットをテストすることもできます。)

SDF II は、クロスハッチ (#) 文字により区分の境界を示します。区分セットの省略時の文字セル・サイズを使用しない区分の場合、SDF II は、代わりに、アスタリスク (*) 文字により境界を示します。区分セットの左上隅のみを見ることができます。区分セットの残りを見るには、スクロール・キーを使用します。SDF II は、各区分の左上隅にその区分の名前を表示します。

区分セットを縮小した版は以下のとおりです。

2. **End** キー (PF3) を 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。
 3. **Save** を選択してオブジェクトを保管し、「区分セットの識別」パネルに戻ります。
 4. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

区分セットに対する ENI パネルの定義

- 「SDF II 機能の選択」パネルのコマンド行に **1** を入力して、「パネルの識別」パネルを表示します。

2. 強調表示されたテキストを入力します。

名前 eni

「パネル・インスタンスの定義」パネルが表示されます。

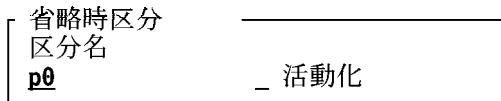
3. **3279-3B** を選択します。

4. **End** キー (PF3) を押して、「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルを表示します。

5. 「パネル編集機能ダイアログの選択」パネルのコマンド行に **6** を入力して、「BMS 特性の定義」パネルを表示します。

このダイアログは、第7章でパネル・グループのパネルを作成したときに使用しました。

6. 区分名 **p0** を入力して、ENI パネルを区分 P0 に関連付けます。



7. **End** キー (PF3) を 2 回押して、「エディターの終了」ウィンドウを表示します。

8. **保管**を選択してオブジェクトを保管し、「パネルの識別」パネルに戻ります。

9. **End** キー (PF3) を押して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

区分セットの生成

ENI パネルを 41ページの第9章、『パネルへの装置および形式の追加』で変更したので、パネルを再度生成して、新規の BMS マクロを作成する必要があります。これをまだ行ってない場合は、ここで行います。(作成方法を確認する必要がある場合は、13ページの第4章、『ENI パネルの生成』を参照してください。)その後、次のプロシージャーを続けます。

1. 「SDF II 機能の選択」パネルのコマンド行に **6** を入力して、「生成対象の識別」パネルを表示します。

2. 強調表示されたテキストを入力します。

名前 ライブラリー
eniprt 1

タイプ
S P. PANEL
G. PANEL GROUP
S. PARTITION SET
Y. PROTOTYPE

Enter キーを押すと、「生成パラメーターの指定」パネルが表示されます。

区分セットの生成

3. 強調表示されたテキストをタイプします。

出口 表示 オプション ヘルプ	ENIPRT
生成パラメータの指定	
Command ==> _____	
対象名 : ENI	
対象タイプ : PARTITION SET	
目標システム : CICS/BMS	
CICS/BMSマクロの出力-----	
サプライブラリーネーム : ob.ct1	_____
メンバー・タイプ : a	_____
ユーザー出口 :	_____
オプション	
装置タイプ * :	_____
すべての装置の場合*	

4. Enter キーを押します。これにより、SDF II は、ENIPRT 区分セットに対する BMS マクロを生成します。生成が終了すると、「生成メッセージ・リスト」パネルが表示されます。

5. 生成メッセージを検討します。メッセージのリストをスクロールすることや、印刷することができます。必要に応じて、適切な訂正を行い、再度区分セットを生成します。

第11章 他のターゲット・システムへのパネルの変換

これまでに作成したオブジェクトは CICS/BMS 用です。ただし、場合によっては、CICS/BMS 用に作成したオブジェクトを異なるターゲット・システムで使用したいことがあります。しかし、各ターゲット・システムには特有のニーズがあるので、オブジェクトを新たなターゲット・システムに合うように変換する必要があります。この変換は、SDF II の変換ユーティリティーを使用して行うことができます。

変換ユーティリティーによりオブジェクトを変換する際に、SDF II は、パネルが新たなターゲット・システムの規則に合致していることを検査します。

この章では、ENI パネルを ISPF プログラムで使用できるように変換します。

ENI パネルの変換

ISPF は、各パネルごとに 1 つだけの形式をサポートします。ただし、CICS/BMS は複数の形式をサポートします。CICS/BMS パネルを ISPF に変換する場合、形式の装置タイプを指定することによって、1 つの CICS/BMS 形式を選択します。

「SDF II 機能の選択」パネルから開始します。

1. そのコマンド行に **9.3** を入力して、「変換ユーティリティー・パラメーター指定」パネルを表示します。
2. 強調表示されたテキストをタイプします。これは、SDF II に変換の詳細を伝えます。

出口 表示 オプション ヘルプ																								
変換ユーティリティー・パラメーター指定																								
Command ==> _____																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">ソース・オブジェクト</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">名前 ライブラリー</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>eni</u> <u>1</u></td> <td style="text-align: right;">P パネル G パネル・グループ A AIDテーブル S 区分セット</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">パネルの場合、任意指定です</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">形式名</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">装置タイプ <u>3279-3b</u></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">物理ページ</td> </tr> </table>	ソース・オブジェクト	名前 ライブラリー	タイプ		<u>eni</u> <u>1</u>	P パネル G パネル・グループ A AIDテーブル S 区分セット	パネルの場合、任意指定です			形式名			装置タイプ <u>3279-3b</u>			物理ページ								
ソース・オブジェクト	名前 ライブラリー	タイプ																						
	<u>eni</u> <u>1</u>	P パネル G パネル・グループ A AIDテーブル S 区分セット																						
パネルの場合、任意指定です																								
形式名																								
装置タイプ <u>3279-3b</u>																								
物理ページ																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">作成する対象</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">名前 ライブラリー</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>目標システム</td> <td><u>enispf</u> <u>1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 0. ALL</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 1. CICS/BMS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 2. MFS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 3. ISPF</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 4. GDDM</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 5. CSP</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	作成する対象	名前 ライブラリー		目標システム	<u>enispf</u> <u>1</u>		3 0. ALL			1. CICS/BMS			2. MFS			3. ISPF			4. GDDM			5. CSP		
作成する対象	名前 ライブラリー																							
目標システム	<u>enispf</u> <u>1</u>																							
3 0. ALL																								
1. CICS/BMS																								
2. MFS																								
3. ISPF																								
4. GDDM																								
5. CSP																								

3. **Enter** キーを押します。SDF II は、パネルを ISPF の適切な形式に変換します。

変換されたパネルは、**作成する対象**の下に入力した名前とライブラリー ID で保管されます。新しい名前を指定しない場合、変換されたオブジェクトは元のオブジェクトを置き換えます。

変換された ENI パネルの保管

SDF II は、ISPF が使用する ENI パネルの機能のみを新たなオブジェクトに組み込みます。SDF II は、CICS/BMS パネルとしてユーザーが定義した他の機能はいずれも無視します。ただし、SDF II は、ISPF が必要とする機能で、CICS/BMS に対してユーザーが定義しなかった機能に対して省略時値を追加するので、新たなパネルの編集が必要になる場合があります。

SDF II は、パネルの変換を終了すると、メッセージのリストを表示します。それらは、必ずしもエラー・メッセージとは限りません。(エラー・メッセージは、モノクローム端末では高輝度表示で、カラー端末ではコントラスト・カラーで表示されます。) メッセージのリストをスクロールすることや、印刷することができます。

「変換ユーティリティー・メッセージ」パネルは、以下のように表示されます。

変換メッセージを検討します。メッセージのリストをスクロールすることや、印刷することができます。エラー・メッセージがある場合には、各エラーを訂正し、再度パネルを変換します。

ヘルプが必要な場合には、?を該当のメッセージの前の行コマンド域に入力します。

変換された ENI パネルの保管

1. 変換済み対象の保管フィールドが変換されたオブジェクトを保管するために斜線文字 (/)でチェックされていることを確認します。
 2. End キー (PF3) を 3 回押して、変換された ENI パネルを保管して、「SDF II 機能の選択」パネルに戻ります。

付録. DBCS ユーザー対象の注意事項

記述フィールドへの DBCS テキストの入力

すべての **Description** (記述) および **Comments** (注釈) フィールドは、DBCS を含む文字を受け入れることができます。

「対象のリスト」パネルを表示すると、オブジェクト名の次に DBCS 文字を含む記述が表示されます。

パネル編集機能の「フィールドの定義」および「構造の定義」ダイアログのフィールド名、データ構造名、および注釈も DBCS 混用のフィールドにすることができます。

DBCS オブジェクトの生成

「生成パラメーターの指定」パネルには、オプションの下に **Graphic** オプションがあります。このオプションは、COBOL または PL/I が **Language** (言語) オプションとして選択されている場合にのみ、関係します。**Graphic** オプション・フィールドに / を入力すると、SDF II は、純粹な DBCS フィールドに対して PIC (COBOL) または CHAR (PL/I) の代わりに GRAPHIC (図形) 宣言を持つデータ構造を生成します。

DBCS オブジェクトの生成

用語および略語の用語集

用語集の用語は、本書での使用法にしたがって定義されています。定義によっては、*American National Standard Dictionary for Information Systems* から引用しており、それらの用語は (A) で示しています。また、*Information Technology Vocabulary* による定義も引用しており、それらは (I) で示しています。出典が示されていない定義は、IBM の定義です。調べている用語がない場合には、本書の索引、オンライン解説の索引または *IBM Dictionary of Computing*, New York: McGraw-Hill, 1944 を参照してください。

A

異常終了 (abend). タスクの異常な終了。

アクション・バー (action bar). 共通ユーザー・アクセス体系において、ウィンドウで使用可能なアクションにユーザーがアクセスできるようにする選択項目を含むウィンドウの最上部の区域。

アクション・バー選択項目 (action bar choice). オブジェクトに適用できる選択項目が入っているメニューを使用できるようにするアクション・バーのテキスト項目。

活動区分 (active partition). カーソルを含む区分。活動区分は縦方向にスクロールできる。区分が活動状態の場合、カーソルは表示窓の境界で“ラップ・アラウンド”し、ENTER キー (入力キー) は、その区分だけのデータを送信する。

付加属性 (adjunct). 表示するデータをもっているデータ構造のフィールドに追加されるデータ構造内の任意選択フィールド。付加属性を使用することによって、アプリケーション・プログラムは、実行時に特定の表示属性 (または属性セット) を変更できるようになる。

AID. アテンション識別子 (attention identifier) を参照。

AID テーブル (AID table). アプリケーション・プログラムのユーザーが実行するアクションに値を割り当てるテーブル。アクションには、たとえば、プログラム機能キーを押すことなどがある。この値は、アプリケーション・プログラムで使用される。

APAR. プログラム診断依頼書。

アプリケーション (application). 計算機において特定のタイプのユーザー指向のタスクを実行するために使用するソフトウェア構成要素の集まり。典型的な例として、給与計算アプリケーション、飛行機の座席予約システム、株式の管理システムなどがある。

アプリケーション属性 (application attribute). データ構造におけるデータの位置調整などの変数フィールドの特性。表示属性 (presentation attribute) と対比。

アプリケーション開発 (AD) (application development (AD)). 特定の解決すべき問題、あるいはアプリケーション問題を処理するためにプログラムを定義し、作成し、またテストすること。

アプリケーション要素 (application element). データ構造の任意の単一項目。

アプリケーション・プロトタイプ (application prototype). アプリケーションで使用されるパネルの一部、またはすべてを事前に定義された順序で提示することによって、そのアプリケーションをシミュレートすること。「操作プロトタイプ (operational prototype)」および「シミュレーション・プロトタイプ (simulative prototype)」を参照。

区域 (area). アプリケーション・プログラムによって内容 (テキストまたは図形) が実行時に提供される形式の長方形の部分。「グラフィック区域 (graphic area)」および「動的区域 (dynamic area)」を参照。

区域属性 (area attribute). 区域の特性に影響を与える属性。たとえば、「拡張可能」や、「スクロール可能」など。

区域マーク (area mark). グラフィックス区域または動的区域などの区域 (区域 (area) を参照) の定義に使用されるマーク。

配列 (array). それが同じ名前と同じ属性を持ち、順序づけられた変数フィールドの集合。配列には配列内での要素の数を示す指定されたオカレンス番号がある。「水平配列 (horizontal array)」および「垂直配列 (vertical array)」を参照。

配列指標 (array index). 配列の名前の次に示される括弧中の数値。たとえば、配列 a の要素 $a(3)$ の名前においては、3 が配列指標である。

アセンブラー (ASM) (assembler (ASM)). アセンブリー言語の命令をオブジェクト・コードに変換する計算機プログラム。

アテンション識別子 (AID) (attention identifier (AID)). システムによる処置を要求する ENTER キーなどのキーをユーザーが押したこと示すデータ・ストリームの文字。

属性 (attribute). 「アプリケーション属性 (application attribute)」、「区域属性 (area attribute)」、「背景属性 (background attribute)」、「文字属性 (character attribute)」、「フィールド属性 (field attribute)」、「固有属性 (inherent attribute)」、および「表示属性 (presentation attribute)」を参照。

属性記述子 (attribute descriptor). 一組の属性を示す記号。

用語および略語についての用語集

属性行 (attribute line). フィールドに割り当てられる属性記述子を表示する行。

自動保管 (autosave). 一時保管を自動的に行う変更の回数をユーザーが指定できる自動保管機能。

自動保管ライブラリー (autosave library). 保管されたオブジェクトが記憶されるライブラリー。

B

背景属性 (background attribute). 背景テキストに関連した属性。

背景テキスト (background text). 定数フィールドまたは変数フィールド内にはないパネル上のすべてのテキスト。

基底名 (base name). データの位置を識別するポインター変数として基底データ構造で使用される名前。

ブロック (block). SDF IIにおいて、moveblock または delblockなどの位置コマンドによって定義される形式内の長方形部分。

C

C. 高水準プログラム言語の一つ。

文字属性 (character attribute). 単一文字に適用される属性。

CICS/BMS. 顧客情報管理システム/基本マッピング・サポート

COBOL. 英語を基本にして、主にビジネスのアプリケーションに使われる高水準プログラム言語。

共通ユーザー・アクセス (CUA) 体系 (Common User Access (CUA) architecture). ユーザーと、ワークステーションまたは端末との間のダイアログを行うための指針。

定数フィールド (constant field). SDF IIにおいて、背景属性と異なる属性のある定数テキストを含むフィールド。変数フィールド (variable field) と対比。

制御テーブル (control table). (1) IMS/MFSにおいて、操作員制御機能のユーザー定義のテーブル。入力装置データまたはデータ長が事前に定義された条件を満たしている場合に、特定の制御機能が呼び出される。(2) SDF IIにおいて、IMS/MFSの操作員制御テーブルに対応するオブジェクト。

変換 (conversion). 特定のターゲット・システム用に定義されたオブジェクトを、他のターゲット・システム用のオブジェクトに変更する処理。変換されたオブジェクトは、新しいターゲット・システムがサポートする特性を保持する。

システム共通プロダクト (CSP/AD および (CSP/AE) (Cross System Product (CSP/AD and CSP/AE)). 個々に定義された

マップ (表示装置および印刷装置の形式)、データ項目(レコード、タスク記憶域、ファイル、および単一項目)、およびプロセス (論理) をユーザーが使用して、アプリケーションの開発および実行を行えるように設計されている、一組のライセンス・プログラム。システム共通プロダクトは 2 つの部分すなわち、システム共通プロダクト/アプリケーション開発機能 (CSP/AD) とシステム共通プロダクト/アプリケーション実行機能 (CSP/AE) から構成される。

CSP/AD. システム共通プロダクト/アプリケーション開発機能。

CSP/AE. システム共通プロダクト/アプリケーション実行機能。

CUA. 「共通ユーザー・アクセス体系 (Common User Access architecture)」を参照。

CUA 属性 (CUA attribute). 「CUA パネル要素属性 (CUA panel element attribute)」と同義語。

CUA パネル要素 (CUA panel element). タイトルなどの名前の付いたパネル中の最小部分で CUA 体系に基づいている。

CUA パネル要素属性 (CUA panel element attribute). SDF IIにおいて、CUA パネル要素タイプに関する属性。「CUA 属性 (CUA attribute)」と同義。

CUA パネル要素タイプ (CUA panel element type). SDF IIにおいて、CUA パネル要素のクラスに対する参照として使用される。CUA タイプ (CUA type) と同義。

CUA タイプ (CUA type). 「CUA パネル要素タイプ (CUA panel element type)」と同義語。

顧客情報管理システム (CICS) (Customer Information Control System (CICS)). 遠隔端末で入力されるトランザクションを、ユーザー作成のアプリケーション・プログラムが並行して処理できるようにするIBM ライセンス・プログラム。このプログラムには、データベースの構築、使用、および保守を行う機能が含まれている。

D

DASD. 直接アクセス記憶装置。

データ・マーク (data mark). ISPF の「DATAIN/DATAOUT 属性文字 (DATAIN/DATAOUT attribute characters)」と同義。

データ構造 (data structure). SDF IIにおいて、パネルの部分をなす構造。出力の場合、アプリケーションによりデータがどのように提供されるかを記述する。入力の場合、アプリケーションに対しデータがどのように提示されるかを記述する。

DBCS. 2 バイト文字セット。

装置リスト (device list). 互換性のある装置タイプのリスト。システム・プログラマーにより定義される。

装置テーブル (device table). 「装置タイプ・テーブル (device type table)」と同義語。

装置タイプ (device type). SDF IIにおいて、装置または装置リストの名前。

装置タイプ編集プログラム (device type editor). 装置タイプ・テーブルを作成し、保守するために使用する編集プログラム。

装置タイプ・テーブル (device type table). 装置で利用可能な機能と SDF II がサポートするすべての装置タイプの名前を含むテーブル。このテーブルは、SDF II 管理者により保守される。

DFLD. 装置フィールド。

ダイアログ (dialog). (1) ユーザーと計算機との対話。
(2) SDF IIにおいて、SDF II とユーザーの間に対話式セッションを確立する 1 つまたは複数のパネルとそれに関連する論理。ダイアログは、要求された機能に対して適切な情報を入力するようユーザーに指示し、結果を表示する。

直接アクセス記憶装置 (DASD). アクセス時間がデータの位置から効果的に独立している装置。(A)

2 バイト文字セット (double-byte character set (DBCS)). 各文字が 2 バイトで表示される文字セット。日本語、中国語、韓国語などの言語に含まれる記号は、256 のコード・ポイントで表示できる記号数を超えており、2 バイト文字セットが必要になる。文字には、それぞれ 2 バイト必要なので、DBCS 文字の入力、表示、印刷を行うには、DBCS をサポートしているハードウェアおよびプログラムが必要である。

DSECT. ダミー制御セクション。

ダミー制御セクション (DSECT). アセンブラーがオブジェクト・コードを作成せずに記憶域の形式設定に使用できる制御セクション。(A)

動的区域 (dynamic area). SDF IIにおいて、アプリケーション・プログラムが実行時にテキストを埋める区域。

E

EBCDIC. 拡張 2 進化 10 進コードを参照。

強調クラス (emphasis class). SDF IIにおいて、1 組の事前定義属性。強調クラスは、フィールド、マーク、属性記述子に指定できる。

EXEC. オペレーティング・システムおよび実行制御ステートメントを含む実行可能なプロシージャー。

拡張属性 (extended attribute). カラー、高輝度表示、プログラムされた記号セット、アウトライン、混合、または妥当性検査の各属性のいずれか。

拡張 2 進化 10 進コード (EBCDIC) (extended binary-coded decimal interchange code (EBCDIC)). 8 ビット文字から成る 256 のコード化文字セット。

拡張外部ソース形式 (extended external source format). SDF IIにおいて、CICS/BMS および IMS/MFS の何らかの特性を示す、CSP/AD 外部ソース形式の拡張機能。「外部ソース形式 (external source format)」を参照。

外部ソース形式 (external source format). CSP/AD の外部ソース形式は、AD/Cycle 枠組みのアプリケーションとパネルを表示するために共通に使用される。この形式は、マークアップ・タグおよび属性の読み取り可能な構文で構成される。

F

フィールド属性 (field attribute). フィールドの定義済み特性。たとえば、保護されているか無保護か、検出可能か検出不能か、表示可能か表示不能か、または輝度など。表示属性 (presentation attribute) および固有属性 (inherent attribute) を参照。

フィールド形式 (field format). フィールド特性。指定されたフィールドに文字セットを入れることができるかどうかを判別する。

形式 (format). 形式は、パネルの部分である。表示画面におけるデータの表示方法を定義する。出力の場合、表示画面におけるデータの表示方法を定義する。入力の場合、ユーザーによる表示画面へのデータの入力方法を定義する。形式は、異なる装置タイプに対して異なる定義で構成される場合がある。これらの定義を形式インスタンスという。

形式要素 (format element). 形式の部分。たとえば、変数フィールド、定数フィールド、動的区域、図形区域、反復形式、または組み込みパネルなど。

形式インスタンス (format instance). 特定の装置タイプのデータ表示を定義する形式の部分。

形式モード (format mode). SDF II がパネルのレイアウトを表示する 4 つのモードのうちの 1 つ。このモードで、マークは、フィールドと区域のエクステントを示す。初期値モード (initial value mode)、名前モード (name mode)、サンプル値モード (sample value mode) と対比。

用語および略語についての用語集

G

GDDM-IMD. 図形データ表示管理プログラム - 対話式マップ定義。

生成 (generation). SDF IIにおいて、ターゲット・システムで使用したり、アプリケーションをプロトタイプ化するためにオブジェクトを作成するプロセス。

图形データ表示管理プログラム (GDDM) (graphical data display manager (GDDM)). ルーチンのグループ。ピクチャーを定義したり、図形要素に対応する機能ルーチンを介してプロシージャーごとにピクチャーを表示させることができる。

H

水平配列 (horizontal array). 左から右へ、行から行へと読み取られる配列。たとえば、次のとおり。

choice (1) choice (2)
choice (3) choice (4)

配列 (array) および垂直配列 (vertical array) を参照。

I

インポート (import). SDF IIにおいて、サポートされているターゲット・システムの 1 つ、SDF/CICS、外部ソース形式構造といったものから SDF IIにオブジェクトをインポートするプロセス。

IMS/MFS. 情報管理システム/メッセージ形式サービス。

組み込みパネル (include panel). 他のパネルに組み込まれるパネル。たとえば、見出しや後書きなど。

情報管理システム/仮想記憶 (IMS/VS) (Information Management System/Virtual Storage (IMS/VS)). 複合データベースおよびネットワークを管理できるデータベース/データ・コミュニケーション (DB/DC) システム。IMS と同義。

固有属性 (inherent attribute). 変数フィールド・マークと定数フィールド・マーク、およびデータ・マークに定義することができる属性。フィールドを定義した後で固有属性を変更することはできない。

初期モード (initial mode). SDF IIにおいて、SDF IIがパネルのレイアウトを表示する 4 つのモードのうちの 1 つ。このモードで、形式ウィンドウは、その変数フィールドの各初期値を表示する。形式モード (format mode)、名前モード (name mode)、サンプル・モード (sample mode) と対比。

初期値 (initial value). SDF II ユーザーが変数フィールドに割り当てる値。アプリケーションが値を提供していない場合、アプリケーション・プログラムは、実行時にこの値を表示する。

対話式システム生産性向上機能 (ISPF) (Interactive System Productivity Facility (ISPF)). IBM ライセンス・プログラムで、全画面エディターと対話管理機能を提供する。アプリケーション・プログラムの書き込みに使用され、標準表示画面パネルと、アプリケーション・プログラマーと端末ユーザーとの対話式ダイアログを生成することができる。 (A)

ISPF. 対話式システム生産性向上機能。

ISPF/PDF. 対話式システム生産性向上機能/プログラム開発機能。

M

マーク (mark). SDF IIにおいて、フィールドまたは区域などの形式要素を定義し、何らかの編集機能を提供するために使用される文字。たとえば、区域マーク、文字マーク、区切りマーク、およびスペーサー・マークがある。

MRI. 機械可読の情報。

機械可読情報 (MRI). システム制御プログラム、アプリケーション・プログラム、またはマイクロコードなどのプログラムに含まれるすべてのテキスト情報。MRI には、システムと対話をを行うユーザーに表示する、またはユーザーから受信するすべての情報が含まれる。これには、メニュー、プロンプト、メッセージ、報告書の見出し、コマンド、および応答が含まれる。MRI はプリンターまたは表示パネルに出力される。 (A)

MVS. 多重仮想記憶域。MVS/XA 製品および MVS/ESA 製品を意味する。

N

名前モード (name mode). SDF IIがパネルのレイアウトを表示する 4 つのモードのうちの 1 つ。このモードで、形式ウィンドウは、フィールドの変数フィールドの名前を表示する。形式モード (format mode)、初期モード (initial mode)、サンプル・モード (sample mode) と対比。

各国語サポート (NLS) (national language support (NLS)). 他の言語または国の要件に適合するための、米国英語製品の変更または変換。これには、製品の使用可能化または改造、および製品のラベル、MRI、または資料の翻訳を含むことが可能。(A)

NLS. 各国語サポート。

非プログラム式端末 (NPT) (nonprogrammable terminal (NPT)). 基本共通ユーザー・アクセス体系で、ほとんどのユーザー・インターフェース機能を制御するホスト・プロセッサーに接続される端末。 (A)

NPT. 非プログラマブル・ワークステーション。

O

オブジェクト (object). SDF IIにおいて、パネル、パネル・グループ、区分セット、または SDF II ライブラリーに保管される AID テーブルのこと。

59ページの図6では、ターゲット・システムでこれらのオブジェクトに該当するものを示す。

図 6. SDF II オブジェクトとターゲット・システムでの同義語

SDF II オブジェクト	IMS/MFS	CICS/BMS ¹	GDDM-IMD	CSP/AD または VisualGen	ISPF
パネル	形式セット	マップ	マップ	マップ	パネル
パネル・グループ		マップ・セット	マップ・グループ	マップ・グループ	
区分セット	区分定義ブロック	区分セット			
AID テーブル	DEV ステートメントの PF キー・パラメーター		AID テーブル		
制御テーブル	操作員制御テーブル				

¹ SDF/CICS は、CICS/BMS と同じ用語を使用する。

操作プロトタイプ (operational prototype). アプリケーション・プログラムのシミュレーション。単一データベース・アクセス、スクロール、エラー報告、およびオンライン・ヘルプ・パネルなどの単一機能をテストし、検討する。いくつかのアプリケーション・プログラムの場合には、操作プロトタイプは、何らかのプログラム・コードまたは SDF II 対話管理プログラム・テーブルを含む、データベース特性の一部が含まれることがある。操作プロトタイプを使用して、アプリケーション・プログラムのユーザーの要求を判別し、アプリケーション・プログラムがそれらの要求を満たしていることを確認できる。シミュレーション・プロトタイプ (simulative prototype) を参照。

P

ページ (page). SDF IIにおいて、IMS/MFS 物理ページに対応する形式インスタンスの部分のこと。

パネル (panel). (1) 任意の時間に表示画面で表示される情報。(2) SDF II オブジェクト。形式、データ構造、および様々なテーブルで構成される。各パネルには、少なくとも 1 つの形式がある。

パネル・コマンド (panel command). パネルの部分、パネル全体、または SDF II の流れに影響するコマンド。パネル・コマンドは、コマンド行に入力される。また、プログラム機能キーに割り当てることができる。

パネル要素 (panel element). (1) 「パネル・インスタンスの定義」ダイアログで表示されるパネルの要素。次のうちの 1 つがある。

- 形式
- 形式インスタンス
- ページ
- データ構造

(2) 「パネル要素の指定」ダイアログの行。パネル作成ユーティリティーによって使用され、1 つ以上のフィールド、パネル・テキスト、または構成するパネルの反復形式を作成する。

パネル・グループ (panel group). SDF II 内のオブジェクト。パネル名リストを含み、これらのパネルの特性を記述する。

パネル・グループ・インスタンス (panel group instance). パネル・グループの部分。特定の装置タイプに対するパネル・グループの特性を記述する。

区分 (partition). 表示画面のすべて、または部分。区分が作成されたときに定義される表示窓を介して、データは区分内で表示される。

区分セット (partition set). SDF II オブジェクト。同じ表示画面を共用するように設計された区分のグループで構成される。

区分セット・インスタンス (partition set instance). 区分セットの部分。特定の装置タイプに対応する区分セットの特性を記述する。

PL/I. プログラム言語。商用および科学技術用の広範な計算機アプリケーションで使用するために設計されている。(A)

表示属性 (presentation attribute). 強調表示やカラーなど、表示画面で情報をどのように表示するかを定義する属性。アプリケーション属性 (application attribute) と対比。

用語および略語についての用語集

プログラム一時修正 (PTF). 現行未変更リリースにおける障害の結果として、IBM が診断する問題の一時ソリューションまたはバイパス。

プロトタイプ (prototype). シミュレーション・プロトタイプ (simulative prototype) および操作プロトタイプ (operational prototype) を参照。

PTF. プログラム一時修正。

プルダウン (pull-down). 共通ユーザー・アクセス体系で、アクション・バーの選択項目に関連した選択項目リスト。ユーザーがアクション・バーの選択項目を選択すると、プルダウン・メニューが表示される。

プルダウン選択 (pull-down choice). メニューのテキスト項目。ユーザーは選択項目を選択し、何らかの方法でオブジェクトを処理する。

R

参照名 (reference name). 1 文字または 2 文字の名前で、SDF II が変数フィールドの名前の同義語として使用する。

反復形式 (repeat format). 形式の長方形部分で、パネルの下方向へ反復される。反復形式のインスタンスはすべて、原形式と同じ相対水平位置で同じ変数フィールドをもっていかなければならない。

報告書作成プログラム II (RPG II). ビジネス・データ処理向けのアプリケーション・プログラムを作成するために特に設計された商用指向のプログラム言語。(A)

再構造化拡張実行プログラム (Restructured Extended Executor (REXX)). コマンド・リストを書き込むためのインターフリタ言語。

REXX. 再構造化拡張実行プログラム言語。

RPG II. 報告書作成プログラム II。

S

サンプル・モード (sample mode). SDF II がパネルのレイアウトを表示する 4 つのモードのうちの 1 つ。このモードで、形式ウィンドウは、その変数フィールドの各サンプル値を表示する。形式モード (format mode)、初期モード (initial mode)、名前モード (name mode) と対比。

サンプル値 (sample value). SDF II ユーザーが変数フィールドに割り当てる値。SDF II は、パネルのテスト時、またはプロトタイプ・シミュレーション間にこの値を表示する。

画面定義機能/顧客情報管理システム (SDF/CICS). アプリケーション・プログラマーが使用するオンライン・アプリケーション開発ツールで、マップ、マップ・セット、および CICS/VS

基本マッピング・サポートの区分セットの定義や編集を行う。(A)

画面定義機能 II (SDF II). アプリケーション開発者を支援する対話式アプリケーション開発ツールで、パネル、パネル・グループ、区分セット、AID テーブル、および制御テーブルなどの表示画面オブジェクトの定義、保守、インポート、および生成を、そのターゲット・システムに合わせて、行う。

スクロール可能区域 (scrollable area). メイン・パネルのウィンドウで、その後ろにあるスクロール可能区域はスクロールすることができる。

スクロール可能区域形式 (scrollable area format). スクロール可能区域で使用される分離形式。

SDF/CICS. 画面定義機能/顧客情報管理システム

SDF II. 表示画面定義機能。

SDF II 対話管理プログラム. SDF II の対話管理構成要素。

SDF2/DM. SDF II 対話管理プログラム

区切りマーク (separator). SDF II において、フィールドの長さ、その名前、およびそのマークを分離するのに使用されるマーク。

シフトイン文字 (SI) (shift-in character (SI)). コード拡張文字。シフト・アウト文字によって導入された順序列を終了させ、標準文字セットの図形文字を効率的に使用する。(I)
シフト・アウト文字 (shift-out character) と対比。

シフトアウト文字 (SO) (shift-out character (SO)). SDF II におけるコード拡張文字。標準文字セットの図形文字を DBCS に置き換える。シフト・イン文字 (shift-in character) と対比。

SI. シフト・イン文字。

シミュレーション・プロトタイプ (simulative prototype). アプリケーション・プログラムが使用する一連のパネルのシミュレーション。アプリケーション・プログラムとそのユーザーとの対話の主要な流れをテストし、検討する。このパネルは初期値を表示し、ユーザーが入力するデータを受け入れる。操作プロトタイプ (operational prototype) を参照。

骨組み (skeleton). 新しいオブジェクトを作成するときにモデルとして使用されるオブジェクト。

後スキップ属性 (skip after attribute). SDF II における表示属性。カーソルが位置するフィールドが埋まっているときに、次の無保護フィールドにカーソルをスキップさせる。

SO. シフト・アウト文字。

スペーサー (spacer). SDF II において、パネル定義の間、情報を位置づけるマーク。通常は中央そろえに使用される。

仕様オブジェクト (specification object). オブジェクト (object) の同義語。

T

ターゲット・システム (target system). SDF II パネルを使用するアプリケーションを実行できるシステム。たとえば、CICS/BMS、CSP/AD、VisualGen、ISPF、GDDM-IMD、および IMS/MFS。

U

ユーザー出口ルーチン (user exit routine). 事前定義のユーザー出口点で制御を受け取るユーザー作成のルーチン。たとえば、SDF II VSE では、EXEC。

V

変数フィールド (variable field). アプリケーション・プログラムまたはユーザーによるデータの変更が行われるフィールド。文字列があるか空の場合もあって、内容は実行時に定義される。実行時に内容を提供されない場合、初期値が指定時に定義されていればそれが省略時値となる。定数フィールド (constant field) と対比。

垂直配列 (vertical array). 上から下へ、桁から桁へ読み取られる配列。たとえば、次のとおり。

choice (1)	choice (3)
choice (2)	choice (4)

配列 (array) および水平配列 (horizontal array) を参照。

拡張仮想記憶域 (VSE). IBM ライセンス・プログラムで、完全な名前は拡張/高機能仮想記憶域機能。プログラムの実行を制御するソフトウェア・オペレーティング・システムである。(A)

VSE. 拡張仮想記憶域。

W

ウィンドウ (window). SDF II における表示画面の長方形部分。スクロール可能データが表示され、操作を行うことができる。

用語および略語についての用語集

SDF II の資料

SDF II R6 の資料は以下のとおりです。

SDF II Licensed Program Specifications、GH12-6318

製品の仕様と保証に関する情報が記載されています。

対象読者: データ処理部門の管理者、システム・プログラマー

SDF II R6 の紹介、GH88-6122

SDF II の機能、用法、要件、利点を要約しています。

対象読者: データ処理部門の管理者、システム・プログラマー

SDF II R6 概要説明、SH88-6123

新規ユーザーを対象に SDF II を紹介し、単純なパネルの定義方法を説明しています。パネルの流れおよびアプリケーションの主要な機能のプロトタイプ化の方法を説明しています。

対象読者: システム・プログラマー、アプリケーション・プログラマー、アプリケーション・ユーザー

SDF II R6 入門(CICS/BMS)、SH88-6121

SDF II を使用して、CICS/BMS の下で実行するアプリケーションのオブジェクトを開発する方法を説明しています。

対象読者: システム・プログラマー、アプリケーション・プログラマー、アプリケーション・ユーザー

SDF II R6 実行時サービス、SH88-6120

SDF II 対話管理プログラム (SDF2/DM) の言語および機能についての包括的な参考資料です。

対象読者: システム・プログラマー、アプリケーション・プログラマー

SDF II R6 管理の手引き、SH88-6119

VSE システムにおける SDF II のカストマイズの方法を説明しています。また、SDF II へのオブジェクトのインポート方法、ライブラリーのセットアップと処理の方法、バックからの SDF II の実行方法、および SDF II の問題を判別しそれを IBM のサポート担当者に知らせる方法を説明しています。

対象読者: システム・プログラマー、アプリケーション・プログラマー

SDF II R6 参照要約、SX88-6066

SDF II の行コマンドおよびパネル・コマンドをリストして、説明しています。また、SDF II の主要なダイアログと機能もリストしています。

対象読者: システム・プログラマー、アプリケーション・プログラマー、アプリケーション・ユーザー

索引

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

- 後書きマップの定義 33
- アプリケーションの例
- ENI (新規項目の入力) パネル
 - 生成メッセージ 16
 - データ構造およびマップの生成 15
 - データ構造の変更 9—11
 - パネルの生成 13—18
 - パネルの定義 3—8
 - パネル・グループの定義 23—29
- SIH (Stock In Hand) アプリケーション
 - パネルの記述 24—25
 - パネルの定義 26—28, 29
 - パネル・グループの定義 35—40

〔カ行〕

- 記号記述マップ
- SDF II の同義語 19
- 区分セット
 - 区分の定義 47—48
 - 識別 46
 - 省略時名 46
 - 装置タイプ 46
 - 定義 45
 - テスト 48
 - 特性の定義 47
 - 編集プログラムへのアクセス 46
- 区分セットの生成 49
- 形式
 - 定義 27
 - SDF II 用語の 1
- コマンド
 - 繰り返し (r) 42
 - 現在行の設定 (/) 42
 - 後 (a) 42
 - 削除 (d) 42
 - 前 (b) 42
 - 選択 (s) 42
 - テスト 11
 - テスト・レイアウトの定義パネルでの 38
 - パネル・インスタンスの定義パネルでの 42
 - パネル・リスト定義パネルでの 37
 - ビュー 9
 - 複写 (c) 42

- コマンド (続き)
 - マーク 7
 - col 7
 - preserve on 41

〔サ行〕

- サブフィールド
 - 定義 9
- 参考文献 63
- 小構造
 - 定義 10
- 資料 63
- 生成パラメーターの指定 15
- 前提条件
 - 入門のための 1
 - CICS のための 1

〔タ行〕

- ターゲット・システム
 - 設定 4
- ダイアログ
 - 形式の定義 7, 27
 - 構造の定義 9—11
 - テスト・レイアウトの定義 37—38
 - パネル特性の定義 5—6, 26
 - パネルの識別 31
 - パネル編集プログラムの選択 9
 - パネル・インスタンスの定義 41—42
 - パネル・リストの定義 36—37
 - プロファイル編集プログラムの選択 4
 - 変換ユーティリティー・パラメーターの指定 51
 - マークの定義 7
 - BMS 特性の定義 31—33
- 通信
 - SDF II との viii

- データ構造
 - 生成 15
 - 定義 1
 - 名前 1
 - 変更 9
 - SDF II の定義 19
- テスト
 - コマンド 11
 - パネル 11
 - 特記事項 v

〔八行〕

- パネル 4
 - 位置決め 32
 - 位置調整 32
 - 形式 1
 - 省略時値 2
 - 生成
 - オブジェクトの識別 13—14
 - 生成される BMS マクロ 17
 - 生成されるデータ構造 18
 - パラメーター 14
 - メッセージ 16
 - 装置および形式の追加 41
 - ターゲット・システムの変換 52
 - データ構造 1
 - 生成プログラム言語 13, 15
 - 名前 1
 - 定義 1, 41
 - 定義のためのステップ 2
 - 表示
 - 本書での表示方法 viii
 - フィールド形式マップ 32
 - ブロック形式マップ 32
- SDF II
 - 区分セットの識別 46
 - 区分セットの特性の定義 47
 - 区分の定義 47, 48
 - 区分編集プログラム・ダイアログの選択 46
 - 形式の定義 7, 43
 - 構造の定義 9
 - システム環境の指定 4
 - 生成パラメーターの指定 14
 - 生成メッセージのリスト 16
 - テスト・レイアウトの定義 37
 - パネル特性の定義 5
 - パネルの識別 4
 - パネル編集プログラム・ダイアログの選択 4
 - パネル・インスタンスの定義 42
 - パネル・グループの識別 35
 - パネル・グループ編集プログラムダイアログの選択 36
 - パネル・リストの定義 36
 - 変換ユーティリティー・パラメーターの指定 51
 - 変換ユーティリティー・メッセージ 52
 - マークの定義 7
 - BMS 特性の定義 31, 33
 - SDF II 機能の選択 4
- SDF II の定義 19
- SDF II 用語の 1
- パネル形式
 - CICS/BMS 52
- パネルの生成 13, 14
- オブジェクトの識別 13
- そのパラメーター 15
- メッセージ 16
- パネルの変換 51
- パネル・グループ
 - グループのテスト 39
 - 生成 39—40
 - 定義 35
 - アプリケーションの例 23—29
 - テスト・レイアウトの定義 37—38
 - パネル・リストの定義 36—37
 - マップ・セットの作成 39
 - BMS 特性の定義 36
 - SDF II の定義 19
 - パネル・グループの生成 39
- プロシージャー
 - エラー・メッセージの印刷 16
 - 区分セットに対する ENI パネルの定義 48
 - 区分セットの識別 46
 - 区分セットの生成 49—50
 - 区分セットのテスト 48
 - 区分セットの特性の定義 47
 - 区分の定義 47—48
 - 形式の変更 42
 - 小構造の定義 10—11
 - 生成オブジェクトの識別 13—14
 - 生成された出力の処理 13
 - ターゲット・システムの定義 4
 - 他の装置の定義 42
 - テスト・レイアウトの定義 37
 - パネル特性の定義 5—6, 26
 - パネルの識別 4—5, 26
 - パネルのテスト 11
 - パネルの変換 51—52
 - パネル・グループ特性の定義 36
 - パネル・グループ内のパネル・リストの定義 36
 - パネル・グループの識別 35
 - パネル・グループの生成 39—40
 - パネル・グループのテスト 39
 - パネル・グループのパネル・リストの作成 36
 - 変換された ENI パネルの保管 52
 - BMS 特性の定義 31—33
 - BMS 特性の定義ダイアログの定義 31, 33
 - ENI パネル 14
 - ENI パネルの形式の定義 7—8
 - ENI パネルのサブフィールドの定義 9—10
 - SIHBODY パネルの位置の定義 33
 - SIHBODY パネルの定義 27—28
 - SIHFOOT パネルの位置の定義 33
 - SIHFOOT パネルの定義 28—29

- プロセッサー (続き)
- SIHHEAD パネルの位置の定義 31
 - SIHHEAD パネルの形式の定義 27
 - SIHHEAD パネルの定義 26—27
 - 3278-4 装置の ENI パネルの選択 42
- 変換ユーティリティー
- パラメーターの指定 51
 - メッセージ 52
- [マ行]**
- マクロの作成
- DFHMDF 20
 - DFHMDI 20
 - DFHMSD 21
 - DFHPDI 22
 - DFHPSD 22
- マップ
- SDF II における作成 19
 - SDF II の同義語 19
- マップ・セット 1
- SDF II の同義語 19
- 見出しマップの、指定 32
- 見出しマップの指定 32
- メッセージ
- 印刷
- 区分セット 50
 - パネル生成 16
 - パネル・グループの生成 40
- 区分セット 50
- パネル生成 16
 - パネル・グループの生成 40
- 変換 52
- 印刷 52
- SDF II viii
- [ヤ行]**
- ユーザー出口 13
- 用語
- CICS/BMS および SDF II により使用される 19
 - 用語、その用語集 55
 - 用語および略語の用語集 55
- [ラ行]**
- 略語、その用語集 55
- C**
- CICS/BMS
- 後書きマップの定義 33
 - オブジェクト識別のパラメーター 15
- CICS/BMS (続き)**
- 記号記述マップ
 - SDF II の同義語 19
 - 制御ロックの作成 13
 - 生成されたパネル 13
 - ターゲット・システムの設定 4
 - データ構造の付加属性 6
 - マップ
- 後書きの定義 33
 - 見出しの定義 31
 - SDF II における作成 19
 - SDF II の同義語 19
 - マップ・セット 1
- SDF II の同義語 19
 - 見出しマップの定義 31
- BMS システムの特性
- 定義 31—32
- BMS パネル・グループ
- 特性の定義 36
- BMS マクロ・ステートメント 1
- CSP/AD**
- その参照 viii
- D**
- DBCS
- 参照: 2 バイト文字セット
- DBCS オブジェクトの生成 53
- DFHMDF マクロの作成 20
- DFHMDI マクロの作成 20
- DFHMSD マクロの作成 21
- DFHPDI マクロの作成 22
- DFHPSD マクロの作成 22
- I**
- IBM のサービス・マーク v
- IBM の商標 v
- IBM の商標とサービス・マーク v
- S**
- SDF II
- 省略時値 1
 - 資料 63
 - との通信 viii
 - プロファイル 4
- V**

索引

VisualGen

 その参照 viii

VSE

 前提条件 1

数字

2 バイト文字セット

 オブジェクトの生成 53

 DBCS ユーザー対象の注意事項 53

ご意見記入用紙

年 月 日

(お差し支えなければご記入下さい。)

SH88-6121-00

ご芳名：

(英文原典:SH12-6313-00)

貴社名：

表示画面定義機能 II (VSE)

所属部門：

SDF II 入門 (CICS/BMS)

所在地：

リリース 6

電話番号：

本書の内容・構成等について、ご意見やお気づきの点がございましたら、下記にご記入いただければ幸いに存じます。
なお、お寄せいただいたご意見は、弊社にて随時利用させていただきますので、ご承諾のうえご記入くださいますよう
お願い申し上げます。

ページ	行	いずれかにチェックしてください			内 容
		誤り	誤字・脱字	難解	
	上/下から 行目				
その他、お気付きの点がございましたら、以下にご記入ください。					
ご協力ありがとうございました。					

折込み線

折込み線

日本アイ・ビー・エム(株) 社内郵便扱い

L A B - T 0 5 ナショナル・ランゲージ・サポート担当 行

営業部

営業所

課

氏名

(社内郵便番号)
(電話番号)

折込み線

(この線を内側にして折り込んでください。)

折込み線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込み、ホッチキス等でとめたうえ、弊社の営業担当員またはシステムズ・エンジニアにお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようご注意ください。

IBM

プログラム番号: 5746-XXT

Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SH88-6121-00